

官兵ト云フヤウナ者ガ實際ニ於テ大多數ヲ占メテ居リマス、隨テ今次ノ事件ノ後ニ於キマンシテハ、又一層サウ云フ必要ヲ痛感スルト考ヘマスカラ、隨テ今期議會ニ於テ之ヲ提出致シマシテ、是非共一日モ早ク其實現ヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此點モ昨日高橋君カラ卒然トシテ金庫法案ヲ出サレタト云フ御非難デアリマシタガ、政府ハ決シテ卒然トシテ出シタノデハナクシテ、昨年モ議會ニ提出ヲ致シマシタガ、不幸ニシテ御協賛ヲ得ナカッタノデアリマス、併シ當時相當長期間ニ亘ツテ論議ガ盡サレテ居リマシタ、其時ト今日ト較ベマシテ、今日ハ更ニ一層設立ノ必要ヲ痛感スル次第アリマス、此點モ併セテ御諒承ヲ願ヒタ

○高橋委員 政府委員ノ御答辯中、受恩給

者ノ現狀ヲ或ル統制セラレタル妥當ナ機構ヲ以テ救濟スベシト云フ趣旨ニ於テハ、私ハ全ク同感デアリマス、唯問題ハソレハ本法案、即チ今御提案ノ恩給金庫ガ唯一無二ノモノデアルカドウカト云フコトニ付テハ、大イニ研究ノ餘地ガアルト思フ、特ニ法的本質論ニ於テノ只今ノ御答辯中、信用組合、産業組合ニ關スル點ハ、其仕事ノ内部ガ私ハ此金庫法案トハ異ナルト思フ、ノミナラ

ズ特別法ヲ茲ニ構成スル場合ニ於テモ、一般法ノ眞精神ヲ全ク蔑ロニスル譯ニハ行カナイ、ソコデ民法ノ規定ハ公益法人ヲ規定シテ祭祠、宗教、慈善、學術、技藝等ヲ茲ニ掲ゲテ居リマス、隨テ之ニ擬ラヘルベキモノガ公益ノ範圍ニ屬スルモノト考ヘテ行カナケレバナラナイノデアリマス、ソコデ公益營利中間ニ是ガ存在デアルト云フ御意見デアルガ、サウスレバ少クトモ公益ト云フモノノ觀念ヲ織込シダ法案デアルト考ヘナケレバナラヌガ、其公益ト云フモノノ觀念ヲ織込シダ點ハ主トシテ低利資金ノ貸出し、斯ウ云フコトガ第一ノヤウニ伺ッテ居リマス、併シ此委員會デモ屢々現ハレテ居ル通り年六分ノ利子ト云フモノハ決シテ低利デハナイ、ソレハ或ル程度ニ於テ調節スルト云フ局長ノ仰セデアリマスケレドモ、是ダケノ事業費ヲ出シテ、之ヲ經營ナサルト云フニハ、ヤハリ金庫ノ自立自營ノ上カラ言ッテモ、甚シク安クハ出來ナイデハナカラノモノデアルカドウカト云フコトニ付テハ、ウカト私ハ想像スル、サウスルト先づ政府ノ掲ガル第一點ノ低利、即チ公益ノ觀念ヲ云フコトノ仰セガ、ドウモドノ點カシテシヤウニ考ヘラレル、公益的トカ或ハ公益ノ分子ヲ含ムト云フコトガ、ドウモドノ點カシテシヤウニ考ヘラレル、良キ相談相手ト云フコトモ、是モ何モ本金庫ノ設立ニ依

テデナケレバ良キ相談相手ニナレヌト云フノデハナイト思フ、良キ相談相手ハ是ハ民間ノ企業デアルナラバ、如何ニ法律上ノ統制ヲ加ヘテモ、或ハ監督ヲシテモ及バナイト云フ場合ガアルコトモ豫想致サレマスガ、私共ハ斯ウ云フ固苦シイモノヲ今ノ時局ニ強ヒテ作ラヌデモ、或ハ郵便局ノ窓口、カナケレバナラナイノデアリマス、ソコデ公モノガアルカドウカト云フコトハ、大アルガ、サウスレバ少クトモ公益ト云フコトガ、多額ノ事業費ヲ茲ニ打込ム、ソレカコトヲセヌデ、私ハ目的ハ達シ得ラレルトコトヲセヌデ、私ハ何處マデモ固執ヲ致シマセヌガ、兎モ角少クトモ此點ニ付テノ御所見ヲ承ッテ見タイ、今政府ノ計畫セラレテ居ラル、此企テ、即チ受恩給者ノ現下ノ實情ニ鑑ミテ、特ニ痛切ニ統制アル妥當ナ救濟ヲ必要トスルノダト云フコトハ同感ナノデス、私共モ一日モ速ニサウシタイ、唯其使命ヲ果シシムル機關ト云フモノガ、本金庫デナケレバナラヌト云フコトハドウモ考ヘラレヌ、幾度モ申上ゲルヤウデアリマスルガ、多額ノ事業費、ソレカラ利益配當ヲ豫想シ、利息補償料ト云フモノモ決シテ安クハナシテモ、若干ノ國債消化力ニスルコトニ依ツテ、若干ノ國債消化力ニ影響ナシトモ言ヘナイ、況ヤ此方面ニ注入スルコトカ云フコトノ豫想致サレマスガ、サウスルト先づ政府ガ任命カ何トカ云フコトノ規定ガアリマスガ、サウスルトカ、ソレカラ主務大臣ガ監督スルト云フ制度ナルガ故ニ、質的ニ公益ノ觀念

ヲ附與スルモノダトモ考ヘラレマセヌ、又他ノ一例ヲ申上ゲレバ、只今申上ゲタ郵使局ノ窓口デ之ヲ扱ハシムルト云フヤウナコトデモ、サウ云フヤウナ監督統制ハ十分出来得ルコトデアルト思フ、サウ考ヘテ來ルト云フ場合ガアルカドウカト云フコトハ、大此此法案ニアルカドウカト云フコトハ、大アルガ、サウスレバ少クトモ公益ト云フコトガ、多額ノ事業費ヲ茲ニ打込ム、ソレカコトヲセヌデ、私ハ目的ハ達シ得ラレルトコトヲセヌデ、私ハ何處マデモ固執ヲ致シマセヌガ、兎モ角少クトモ此點ニ付テノ御所見ヲ承ッテ見タイ、今政府ノ計畫セラレテ居ラル、此企テ、即チ受恩給者ノ現下ノ實情ニ鑑ミテ、特ニ痛切ニ統制アル妥當ナ救濟ヲ必要トスルノダト云フコトハ同感ナノデス、私共モ一日モ速ニサウシタイ、唯其使命ヲ果シシムル機關ト云フモノガ、本金庫デナケレバナラヌト云フコトハドウモ考ヘラレヌ、幾度モ申上ゲルヤウデアリマスルガ、多額ノ事業費、ソレカラ利益配當ヲ豫想シ、利息補償料ト云フモノモ決シテ安クハナシテモ、若干ノ國債消化力ニスルコトニ依ツテ、若干ノ國債消化力ニ影響ナシトモ言ヘナイ、況ヤ此方面ニ注入スルコトカ云フコトノ豫想致サレマスガ、サウスルトカ、ソレカラ主務大臣ガ監督スルト云フ制度ナルガ故ニ、質的ニ公益ノ觀念立ニ依ツテ是ダケノ資力ヲ傾倒シテ居ルニ

拘ラズ、税金ト云フモノハ取ラナイ、サウスルト此點ニ於テモ國家ノ收入ハ減少スルト云フコトニナルト思フ、サウ云フヤウナ存在ガ何ガ故ニ私ハ必要カト思フ、ドウモ其點ハ質的ノ疑ト云フコト、是ハ意見ノ相違ト致シマシテモ、必要性ニ對スル私ノ理解ガマダピッタリ來ナイノデアリマス、其點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ

○船田政府委員 私ハ高橋君ガ法律家デアラレルモノデスカラ、ソコデ法律論ト實際論トヲ分ケテ申上ゲタノデアリマス、法理論トシテハ御承知ノ通り、民法ハ公益法人ニアラザレバ營利法人、營利法人ニアラザレバ公益法人ト、截然ト分ケテ居ルコトハ、高橋君御指摘ノ通リデアリマス、併シ實際社會ニ於テハ營利法人デナクテ、サウシテ民法ノ所謂公益法人デナイモノガ相當澤山アリマス、是ハ法理論トシテモ、十分其本質論ニ付テ色々ノ御議論ハ出ルト思ヒマスガ、實際ニ於テハサウ云フモノハ澤山アルコトハ、御存ジノ通リデアリマス、產業組合ノ如キモ、組合員ニ利益ガアッタ場合ニハ、配當ヲ致シテ居リマス、併ナガラ何人ガ、此産業組合ハ營利ヲ目的トシテ存 在シテ居ルモノデアルト云フコトヲ言フ者ガアラウカ、隨分議會ノ御議論トシテ

ハ、產業組合ガ營利行爲若クハ營利ニ準ズルヤウナ行爲ヲシテハイカントカ何トカ云フヤウナ御議論ハアリマス、併ナガラ產業組合ガ營利法人デアルト云フコトハ、是ハ法理論トシテハ、私ハ立チ得ナイダラウト思ヒマス、ヤハリ是ハ公益的ノ目的ノ爲ニ存在スルモノ、併シ其個々ノ行爲ヲ見レバ、營利ヲ追求シテ居ルト云フヤウナ營利行爲ニ當ルモノアラウト思ヒマス、是ハ全體トシテ、其本質論ヲ御議論ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ決シテ高橋君ト法理論ヲ論争シヨウト云フ意味デハアリマセヌガ、法理論トシテハ、此法人ノ本質論ニ付テ色々御議論ガアリマセウ、サレバコソ此特別法ヲ必要トスルノデアリマシテ、民法ニ所謂營利法人トスルナラバ、何モ此特別法ヲ必要トシナインデアリマス、其點ハドウゾ先程私申上げ、又昨日私ノ申上ゲタコトヲ通讀ヲシテ戴イタナラバ、御諒解ガ行クコトト存ジマス

ソレカラ此六分ノ貸付利子ヲ取ルト云フコトハ、低利トハ言ヘナイヂヤナイカ、隨テ公認的ト言ヘナイヂヤナイカ、御議論モ、是ハ一部分ダケヲ御覽ニナレル人モ、官界ト言ハズ、財界ト言ハズ、各リマシテ、國家ノ豫算ト違ヒマシテ、是ハダケ餘裕ヲ見タ事業費ヲ計上致シタノデアリマシテ、國家ノ豫算ト違ヒマシテ、是ハ金庫ノ性質ニ顧ミマシテ、出來ルダケ節約シテ、サウシテ一般ノ受恩給者ノ利益ニナルヤウニヤツテ行キタイ、隨テ其經營ノ任ニ當ト思ヒマスガ、併シソレニ致シマシテモ、益ガアルノデアリマスカラ、是ハウント報酬ヲ出シテ、良イ人ヲ得ルコトガ私ハ必要ダト思ヒマスガ、併シソレニ致シマシテモ、本金庫ト致シマシテハ、出來ルダケサウ云フ點ニ付テ節約ヲ圖リマシテ、サウシテ受恩給者全般ノ利益ニナルヤウニ經營ヲシテ行カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、又產業組

モナイトハ申シマセヌ、併シソレハ極メシテモ、是ハ他ノ色々ナ特殊會社等ニ付テモ度々御議論ガ出ル所デアリマスケレドモ、是ハ私等ノ考デハ、報酬ハ相當多額ナモノヲヤラナケレバ、逆モ良イ人ハ來マセヌ、ソレデ最近官僚獨善トカ何トカ言ツテ、官吏ノ古手ガ段々會社ニ入ル、是ハ私モ議員生活ヲシテ居リマスカラ、サウ云フコトニ付テハ痛感ラスルノデアリマスガ、大體ニ於テ特殊會社ノ重役ノ手當、或ハ賞與ト云フモノハ非常ニ少イ、隨テ民間ノ良イ人ガ來ナイ、勢ヒ官吏ノ古手ガ行クト云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、是ハ議會ニ於テハ報酬ハ寧ロ政府ノ提案ヨリモウント出シテヤルト云フコトニナレバ、立派ナ人ハ必ズ來マス、サウシテ是ハ其人ニ對スル報酬バカリデナク、其人ノ信用ガアレバ、結局低利ノ金ヲ集ムルコトガ出來ル、即チ資本「コスト」ヲ低下スルト云フ非常ナ大キナ利益ガアルノデアリマスカラ、是ハウント報酬ヲ出シテ、良イ人ヲ得ルコトガ私ハ必要ダト思ヒマスガ、併シソレニ致シマシテモ、本金庫ト致シマシテハ、出來ルダケサウ云フ點ニ付テ節約ヲ圖リマシテ、サウシテ受恩給者全般ノ利益ニナルヤウニ經營ヲシテ行カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、又產業組

合等ニ於テモ隨分低利ナ金ヲ貸シテ居ルカ
ラジテ、サウ云フヤウナ御議論モアルト思ヒ
ドウカ、或ハ郵便局ノ窓口デヤラシタラド
ウカ、斯ウ云フヤウナ御議論ニヤラシタラ
マスガ、併シ現在ノ郵便局ニ此貸付ノ仕事
マデモヤッテ貴フト云フコトハ、機構ノ上ニ
於テ是ハ到底不可能ダト思ヒマス、ソレカ
ラ産業組合ノ中ニハ相當成績ヲ擧ゲテ居ル
モノモアルコトモ存ジテ居リマスケレドモ、
併シサウ云フモノニ代行サセルト云フコトニ
ナリマスト、有利ナ貸付ハ幾ラデモヤリ手
ガアルノデアリマス、併ナガラ恩給金融ト
ノ厭ガル貸付モヤッテヤルト云フコトガ、此
金庫ノ目的デアリマシテ、隨テサウ云フモ
ノヲ全體トシテ見テ、茲ニ補償料ト云フモ
ノトノ關係モ出テ來ルノデアリマシテ、サ
ウ云フ點モ併セテ御考ヲ願ヒタイト存ズル
ノデアリマス、恩給金庫ノ必要性ニ付キマ
シテハ、度々申上ゲテ居リマスカラ茲ニ繰
返シマセヌケレドモ、全體トシテ御覽ヲ願
ヒタイト云フコトヲ、一言附加ヘテ置キマ
ス

デアリマシテ、唯繰返シテ申シマスガ、其組織トシテ此本策ヲ除イテハ他ニナイノカト云フコトヲ伺フノガ目的デアッタノデアリマス、ソレデ第一點ハ只今ノ御答辯中本質論ニ付テハモウ是レ以上ハ意見ノ相違ニナリマスカラ私ハ言葉ヲ重ネマセヌ、唯他ノ法人ノ組織等ニ照シテ見テ、此金庫法案ガ公益ノ觀念ヲ包含スルト云フコトハ、全然ナイトハ申シマセヌガ、極メテ少イモノデアリマス、寧ロ機構カラ申セバ營利的ノ性質ガ多分ニ織込マレテ居ルノヂヤナイカト云フ私ノ解釋カラ只今マデ御尋致シマシタ、學者モ大體兩者ノ區別ノ標準トシテハ、配當ノ有無ト云フコトニ考ヘテ居ルノガ多數デアルト思ヒマス、其點ニ付テ是以私ハ言葉ヲ重ネマセヌ、只今ノ御答辯中、是ハ何モ追究スル意味デ、同フノデハアリマセヌガ、郵便局デ取扱ハセルコトガ現在ノ機構デハ不可能デアルト云フヤウナコトガアッタヤウニ思ヒマスガ、其片鱗ダケデモ宜シウゴザイマスカラ、ドウ云フ點ガ不可能ノ機構デアルノカ、其機構ヲ或ル程度迄改革スルコトニ依ツテ其使命ヲ十分ニスルコトガ出來ルノデナイカ、全國ニ普遍的ニ存在シテ居ルト云フ其組織カラ云ツテモ極メテ簡便ニ行ハレルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウ

ニ考ヘラレマスカラ、其點ニ付テ要點ダケ
デ宜シウゴザイマスカラ、御尋シタイト思
ヒマス

○船田政府委員 今ノ高橋君ノ御質問デア
リマスガ、郵便局デヤルト云フヤウナコト
ニナルト、結局官營ト云フヤウナ問題ニモ
ナツテ來ルト思ヒマス、併シ恩給金庫ヲ官營
デヤルト云フコトハ、恩給金庫ノ性質カラ
考ヘテ適當デハナイト存ジマス、又郵便局
ハ御承知ノ通リニ、一般民衆ニハ一番親シ
ミ易イ役所デアリマスガ、既ニ色々ノ仕事
ヲヤツテ居リマス上ニ、恩給金庫ト云フヤウ
ナ性質上官營トシテ疑問ノアルモノマデ郵
便局ニ委託事務トシテヤラセルト云フコト
ハ、是ハ郵便局本來ノ性質機能ニ鑑ミテ適
當デハナイト思ヒマス

○高橋委員 只今ノ御答デハ、マダ中心ニ
觸レテ居ラヌヤウナ感シガ致シマスガ、此
點ハ此程度ニ致シマス

更ニ恩給金庫ニ於キマシテ、利益配當ヲ
ナクシテ、貸付利率ヲ極メテ激減スルト云
フヤウナコトニ付テノ政府ノ御所見ハ如何
益配當ヲスルト云フコトハ、決シテ恩給金
先般來度々申上ゲテアリマスル通りニ、利

庫ノ本旨デハナインデアリマス、先般モ申上ゲマシタヤウニ、初年度ニ於キマシテ拂出資ニ俟ツノデアリマシテ、民間ノ公募ト云フコトハ恐ラク實際ニ於テハ極メテ小額若クハ全然無イカモ知レマセヌ、サウシテ貸付資金ハ主トシテ借入金、恩給債券ノ發行、即チ會社デ申セバ社債ヲ募集シテ、其財源ニ依ツテ得タ資金ヲ貸付ケル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、配當ト云フコトハ、金庫本來ノ目的トスル所デハナインデアリマス、隨テ今御話ノ通リニ一厘デモ安イ資金ガ得ラレマスレバ、ソレダケ受恩給者ニ對シテ安イ金融ガ出來ルト云フコトニナルノデアリマシテ、此金庫ヲ設立シタ後ニ於キマシテモ出來ルダケサウ云フコトニ致サウト云フ考ヲ持ツテ居ル譯デアリマス○高橋委員 昨日ノ恩給局長ノ御答辯デモ利益アル場合ニノミ利益ノ配當ヲスルノダ、是ハ問題デアルト思フ、程度ノ問題デアリマスガ、利益ガ多クナッタ場合ニ――是ハ大方針ヲ伺ツテ置クノデスガ、民間出資ノ配當ヲ先ニシテ政府ノ出資ニ對シテハ取ランイト云フヤウナコトニ付テモ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカ

○高木政府委員 其點ハ前ニモ申上ゲタコ

トガアルト存ジマスガ、十年間ハ政府ノ出

資ニ對シテハ配當セズ、又ハ一般ノ配當ヨリモ減少セシメルト云フコトヲ當初カラ豫定致シテ居リマス

○高橋委員 成ベク質問ノ重複ヲ避ケタイ

ノデスガ、私ノ居リマセヌ時ノ御質問ハ思

ハズ重複スルカモ知レマセヌガ、私ノ御尋ス

ル要點ハ十年間ダケノコトデヤナナイノデス、

將來長キニ瓦ル御方針トシテノコトヲ伺ッ

テ居ルノデス

○高木政府委員 只今ノ所遠キ將來ト云フ

コトモ考ヘラマセヌノデ、差向キ十年間ノ

計畫ヲ立テタノデゴザイマスガ、大體ノ考

ト致シマシテハ、十年後ニナリマシタナラ

バ、金庫ノ基礎モ確立スルデアリマセウシ、

其時ニナッテ又適當ナ方法ヲ將來ノ爲ニ考

ヘタラ宜シイノデナイカト、取敢ヘズ十年

間ノ計畫ヲ立テマシタ

○高橋委員 金庫法案二十五條デゴザイマ

スガ、此點ハ前ノ質問者モ觸レタヤウデア

リマスカラ、私別個ノ角度カラ伺フノデス

ガ、一項二項ノ但書デス、是ハ政府トシテ

ハ大體此點ヲ承認セシメテ貸出ノ御契約ヲ

ヤラレル、事實サウナサルノデナイカト考

ヘラレマスガ、サウスルト全ク是ハ空文ニ

歸スルト思フノデスガ、其點ニ付テノ實際

ト形式トノ調和ヲ適當ニ取ルコトガ成文ノ

體裁上必要デヤナイカト思フ觀點カラ御尋

スルノデス

○高木政府委員 第二十五條ノ但書ハ特別

ノ場合ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、原則ト

致シマシテ效力ハ本人以外ニハ及バ、要

スルニ本人ノミデ打切ルト云フ考デアリマ

ス

○高橋委員 但書ニハ「特約ヲ以テト」云フ

コトニナッテ居リマスガ、此特約ハ實際殆ド例

外デナシニ、原則的ニヤラセルノデナイカ

ト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○高木政府委員 其點ハ屢々前回ニモ申上ゲ

ト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

益ガ興ヘラレルヤウニ考ヘラレマスガ、此

點ニ付テハ如何デアリマスカ

○糧貝政府委員 此點ハ產業組合等ニ於キ

マシテハサウ云フヤウナ場合ナラバ、御説ノ

ヤウニ或ハ全額償還ヲサセントカ、或ハ外

ニ保證人ヲ立テサセントカ、色々組合ナ

ドニ依ツテ違ツテ居リマスカラ、何カソレニ

代ルベキモノヲ得ルト云フコトニ致シマス

シ、元々今日擔保ヲ禁止シテ居リマスノデ

俸給ナドヲ借金ノ爲ニ差押ヘガ來マスト、

御承知ノヤウニ事實上ハ官吏ノ身分トシテ

ハ公認サレテ居ナイヤウナ借金ヲ致シマシ

テ、毎月月給ヲ差押ヘラレルト云フヤウナ

コトハ官吏ノ體面ヲ汚スコトニナルカラ何

トカスルト云フヤウナ弱イ所モ持ツテ居ル

モノデスカラ、金ヲ返シテ何トカ事實上ノ

解決ヲシナケレバ仕様ガナイカラ、俸給ヲ

シテ解説ヲシテ居ルノガ事實デアリマス、斯

ウ云フ今度ノ法律ノヤウナ、公認シタヤウ

ナ規定ハ、御説ノヤウニ何處ニモナイノデ

アリマス、事實上サウ云フヤウナ一種ノ強制

モノデスカラ、マア法律上ノ行爲ハ或ハ適

法ノ行爲トカ、或ハ不法ノ行爲トカ、或ハ

法認ノ行爲トカ、大體三ツニ分レテ解説サ

レテ居ルヤウデアリマスガ、政府ハ此三ツ

ノ中ドノ範疇ニ受恩給權利ハ入ルモノダト

テ居ルヤウデアリマスカ、又ソレ以外ノ特

別ナ行爲デアルト云フ御解説デアリマス

カ、其點ヲ一ツ伺ツテ置キマス

○糧貝政府委員 恩給ヲ受ケルノ權利ノ處

分行爲ハ一般ニ法律ハ禁止シテ居リマス、

ソレデ十一條ノ但書ニ依リマシテ、法律ヲ
以テ定メタ場合ダケ、而シテソレヲ恩給金
庫ニ擔保トスル場合ダケニ限ッテ禁止ノ解
除ヲ爲スト云フノデアリマス

○高橋委員 其所謂違法ト云フコトニ當ル
カ當ラヌカ分ラヌノデアリマスガ、今ノ政
府委員ノ御答ニ依ツテモ、違法解除ノ本質ト
申シマスカ、結局恩給金庫ノ本質論モソレ
ニ加ハッテ、又返済ニナルヤウナ感ジハア
リマスガ、兎ニ角十一條一項ヲ改メテ改正
立法ヲ御要求ニナツテ居ル譯デスカラ伺フ
ノデアリマスガ、「但シ特別法ノ定ムル所ニ
依リ恩給金庫ニ擔保ニ供スルハ此ノ限ニ在
ラス」ト御規定ニナツカ其立法ノ理由ト申シ
マスカ、本質論ト申シマスカ、唯是ダケニ
限ツテ禁止ノ解除ヲスルト云フコトニ付テ
ノ理由ヲ一つ伺ッテ置キマス

○権賀政府委員 御尋ノ趣旨ガ或ハ私ガ申
上ゲルコトト多少喰違フカモ知レマセヌ
ガ、御尋ノ趣旨ハ斯ウ云フコトデハナイカ
ト想像致シマス、ソレハ一般ニ恩給ヲ擔
保ニ供スルコトヘ禁止シテ居リナガラ、
恩給金庫ダケニ何故許スノカ、許スナラバ
他ノ機關、例ヘバ特殊ノ銀行トカ、或ハ進
ンデハ産業組合トカ、色々機關ガアラウデ

スノカ、斯ウ云フ御尋デハナイカト思ツテ
居リマス、若シサウデアルトルナラバ、
恩給金庫設立ノ趣旨ヲ申上ゲナケレバナラ
ヌコトニナリマス、是ハ恐ラク或ハ法制局
長官カラ、或ハ恩給局長カラ申上ゲテ居ル
コトデアラウト存ジマスガ、恩給受給者ト
云フモノハ其數ニ致シマシテ約五十万人バ
カリデアリマス、ソレデ先程法制局長官カ
ラモ申上ゲマシタヤウニ、之ニ對シテハ不
具者、或ハ老年者、或ハ幼年者トカ云フヤ
ウナ者ニモ貸付ヲスルコトヲ目的ト致シテ
居リマスノデ、一般金融業者ガ爲シテ居ル
ガ如クニ、利益ノアル部分、言換ヘレバ安全
ナ部分ダケラ撰ンデ貸スト云フヤウナ營利
目的デハナイノデアリマシテ、事業全體ト
シテハ算盤ノ方カラ申セバ、不利益ナ部分
ヲモ含ンデ、ソレニモ貸付ヲスルト云フ
コトヲ元々目的ト致シテ居ルノデアリマ
ス、サウ云フ部分ヲ背負フ爲ニヘ、ドウシ
テモ全體ヲ打ッテ一丸ト致シマシテ、全體ノ
貸付金、其他ヲ確保致シマセスト、貸付者
ニ當ル者ハ維持ガ出來マセヌ、數箇アル中
ノ一つノモノ、有利ナモノダケ撰ツテ幾ツカ
ヤルト云フコトニナレバ、結局不利益ナモ
ノ、具體的ニ申セバ、保險モ付ケラレナイ

ガ後ニ残サレテシマフ、ソレデハ恩給擔保ナドヲ認メルト云フ趣旨ニ遠ザカッテシマフコトニナリマス、公益的性質ヲ非常ニ失ツテシマフ、サウ云フ立場カラドウシテモ一個ノ金庫——金庫ト名前ヲ付ケルカ銀行ト名前ヲ付ケルカハ別ト致シマシテモ、サウ云フ風ナモノデ統括シテ、ソレヲ全體打ッテ一丸トシテ、サウシテ其全體ノ統計ニ基イテ、其算出ノ基礎ノ下ニ貸付ヲ行ヘナケレバ、ドウシテモ永續シナイト云フコトガ考ヘラレマスノデ、ソレデ此恩給金庫ヲ設立スルト云フコトニナリマシタ

ハ無理デアリマス、ドウシテモ新シク一ツ
作ルヨリ外仕方ガナイト云フコトニ結論ハ
到達シタヤウナ次第アリマス
○高橋委員 只今ノ御説明ト從來ノ政府委
員ノ御説明デ、御提案ノ御趣旨ハ大體諒承
致シマシタガ、特ニ此場合私カラ御尋ラシ
テ置キタインハ、本立法ハ昨日モ政府委員
カラ御答ニナリマシタ通り、社會立法デア
ルト云フコトノ觀點カラ、多數色々ナ陳情
ヲシテ居リマス從來ノ金融業者ノ方面ノ立
場モ一ツ検討シテ置キタイト考ヘルノデア
リマス、ソレデ御尋ガ重複致シマスレバ恐
縮致シマスルガ、貸付總額ガ印刷物ナドヲ
見マスト、二億四千万圓ニナツテ居リマスガ
恩給金融業者ガドレ位アルカト云フコトガ
マダ私ハ諒解致シテ居リマセヌ、其點若シ
御分リナラ御示シ願ヒタイ
○高木政府委員 金融業者ガドレダケノ數
アリマスカト云フコトハ、マダ完全ナ調べ
ガゴサイマセヌガ、金融サレテ居リマス額
ニ付キマシテハ、是モ前回以來度々申上ゲ
タノデスガ、大體恩給年金ヲ擔保ト致シマ
ス金融ニ於キマシテ、ドレダケガ擔保金融
デアルカト云フ正確ナ數ヲ調査スルコトハ、
實ハ困難デアリマス、唯貯金局ニ於キマス

ル代理受領ノ形式ニ依ッテ受取ッテ居リマスモノカラ推定致シマシテ、大體二割程度ト云フ風ニ考ヘラレテ居リマス、デアリマスカラ、代理受領以外ノ形式デ取ッテ居ルモノモアラウト考ヘマスノデ、大體ノ基準ト致シマシテハ二割乃至二割五分程度デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○高橋委員 私共へ陳情致シテ參ッタ計數ハ約六万人、其家族ヲ合セレバ約三十万人ト云フ計數ヲ示シテ居ルノデス、只今御示シノ割合ガサウ云フヤウニナルカドウカ分リマセヌガ、サウ云フヤウナ計數ヲ齎シテ參ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テノ私共ノ考デアリマスガ、此中ニハ、甚シク組合中央會ノ表示ヲ致シテ居リマシタ利子ノ中ニハ、金庫法案ノ此御目論見ヨリモ安イモノガ兎ニ角若干アル、サウ云フ觀點カラ申シマスレバ、此金融業者ノ中ニハ、ヤハリ相當人情ニ即シ暴利ヲ貪ルコトヲ敢テセラレト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ對シテ政府ハ何等カノ御者ヲ御持チニナックテ居ルカドウカト云フ點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○高橋委員 私共へ陳情致シテ參ッタ計數ハ約六万人、其家族ヲ合セレバ約三十万人ト云フ計數ヲ示シテ居ルノデス、只今御示シノ割合ガサウ云フヤウニナルカドウカ分リマセヌガ、サウ云フヤウナ計數ヲ齎シテ參ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テノ私共ノ考デアリマスガ、此中ニハ、甚シク組合中央會ノ表示ヲ致シテ居リマシタ利子ノ中ニハ、金庫法案ノ此御目論見ヨリモ安イモノガ兎ニ角若干アル、サウ云フ觀點カラ申シマスレバ、此金融業者ノ中ニハ、ヤハリ相當人情ニ即シ暴利ヲ貪ルコトヲ敢テセラレト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ對シテ政府ハ何等カノ御者ヲ御持チニナックテ居ルカドウカト云フ點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○高橋委員 昭和十二年七月二十一日ノ勅令デアリマスガ、此勅令ノ以前ト以後トノ行ツテ居リマスモノニ付テハ、大體年一割五分、手數料等ハ場合ニ依ッテ非常ニ違フノデアリマスガ、昨日モ一二二ノ例トシテ申上ゲマシタヤウニ、額面一千七百圓ノ借用金ニ對スル手數料、利息、雜費トシテ八百三十五圓ヲ取ッタ云フヤウナ例モアル、是等ハ非常ニ顯著ナ例ダト思ヒマス、地方等ニ

○高木政府委員 前段ノ代理受領ノ人員ハ大體ニ於テ御質問ノ通り六万三千人デアリマス、其全部ガ擔保金融カドウカハ先程申デアリマスカラ假ニ三年分ト致シマシテ六千人、ソレニ對スル金額ガ二千万圓、ソレデアリマスカラ假ニ三年分ト致シマシテ六千万圓ト云フコトニナリマス、ソレカラ産業組合トシテ貸付ケテ居リマス中非常ニ低率ノモノガアリマスガ、是ハ恐ラク現在ノ資金「コスト」ノ關係カラ致シマシテ、六分以下デ貸付ラスルト云フコトハ不可能デハナイカト考ヘマス、或ハ非常ニ安イ時分ノ金ノ残リデアルカ、或ハ何カ特殊ノ事情デ他ノ理由ガ入ツテ居ルノデヤナイカト思ハレルノデス、昨日ノ表ヲ御覽ノ通り、六分以下ト云フノハ極メテ僅カノモノデアリマス、大體産業組合等ニ於テ行ハレテ居リマスノモ七分以上、甚シクナリマスト一割ト云フヤウナノハ極メテ僅カノモノデアリマス、又一方金融業者ノ行ツテ居リマスモノニ付テハ、大體年一割モノガアルノデアリマス、又一方金融業者ノ用意ハ十分持合セテ居リマス

○高橋委員 昭和十二年七月二十一日ノ勅令デゴザイマスガ、此勅令ノ以前ト以後トニ於テノ再交付ヲナサル決定ノ標準ニ相違ル一ツノ制裁ト考ヘテ居ルノデアリマス、ウニナッテ居リマスガ、是ハ受給者側ニ對スルニ依ッテ受給者ニ反省ヲ求メル、受給者ノガアリマスカ、相違ガアリマセヌカ、アリトスレバ具體的ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

ガ付クヤウニト云フ風ニ恩給局トシテハ
狙ツテ居ルノデアリマシテ、其一方ニ偏ルト
云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居ラナイノデ
アリマス

○高橋委員 従來ノ此恩給債權ニ對スル貸付中所謂契約自由ノ原則ニ從ツテ眞ニ其債權ノ受領ノ委任ヲスル、名實共ニサウ云フ契約内容ノモノガ絶無デアッタトヘ言ヘナイト思フ、ソレガ擔保ニ供スルト云フ意思ノ介在スルコトニ依ツテ、ソレハ大審院ノ判例モアルノデアリマスカラ、判例ガアレバハッキリ致シマスガ、此兩者ノ分界ヲハッキリナサルコトガ再交付ナサル時ノ必要條件デハナイカト思フ、此法案ノ施行後直ニト云フ譯ニハ行カヌデセウカラ、其間ニ可ナリノ期間ガアルコトデアラウト思ヒマスガ、所謂契約自由ノ原則ニ從ツテ眞ニ債權受領ノ委任ニ過ギナイト云フモノ、是ハ固ヨリ有效ナモノデアルニ違ヒナイ、ソレト擔保意思ノ介在デ大審院ノ判例ノ如キモノ、其分界ヲドウ云フ風ニ事實上御取扱ニナル方針デアルカ

書ガ使ヘナイヤウニナツト云フコトヲ理
改正前ニ於キマシテ其場合ヲ忘失毀損ト云フ
法律家デアラル高橋サンニ申スノモ變ナ
モノデゴザイマスガ、有形的ニ何處ニ無ク
ナツタカト云フコトノ外ニ、受給者ノ眼カ
ラ見テ全然使ヒ得ナイ、何處ニアルカ分ラ
ナイト云ツタヤウナ場合モ、普通ノ手段ヲ盡
シテ探し得ナイ場合モ忘失ト考ヘテ宜シイ
ト思フノデゴザイマス、所ガ從來ハ成ベク
厳格ニ之ヲ解釋シヤウト云フコトデ、窮屈
ニ致シテ居リマシタガ、最早十年近クニモ
ナリマスガ、忘失ト云フノハ眼ニ見エテ居
ル所デ焼カレタリスルノデナケレバ忘失デ
ナイナドト言フベキモノデナイ、モウ少シ
ソレハ廣イ意味ヲ持ッテ居ルノダト云フヤ
ウニ段々考ヘラレマシテ、從來是ガ證書ヲ
再交付致シテ居ツタヤウナ譯デアリマス、昨
年七月ノ勅令改正ハ、其趣旨ヲ寧ロハッキリ
致シマシタヤウナコトデアリマス、使用困
難ト云フヤウナ言葉ヲ以テ之ヲ現ハシテ居
リマスケレドモ、趣旨ニ於テハ大シタ相違
ガアルノデハナイ、恩給證書ハ今申シ掛ケ
テ居リマシタノデスガ、受給者ガ其證書ヲ
自分ノ爲ニ使フコトガ出來ナイヤウニナツタ

カドウカト云フコトヲ標準ニ致シマシテ再
交付スルカシナイカト云フコトヲ決メテ參
ルノデアリマス、ソレハドウ云フ理由デ使
カト云フコトハ、實ハ第二段ニ考ヘル體ノ
モノデアリマス、ソコデ恩給局ト致シマシ
テハ、貸借關係ノ方ニハ觸レタクナイ、又
觸レナイト云フ方針デ居リマス、金ノ貸シ
タ借リタノ方ハ、申スマデモナク貸シタノ
カ或ハ借りルノカト云フヤウナコト、ドン
ナ金額ヲ借りタカ貸シタカト云フコトノ判
斷ハ、是ハ司法裁判所ノ管轄スペキモノデ、
固ヨリ行政廳デアル恩給局ノ關知スル所デ
ハアリマセヌガ、恩給局ト致シマシテハ、給
與スル所ノ恩給ノ——其給與ノ方法トシテ
使ヒマス所ノ證書、一ツノ證據トシテ使フ
所ノ證書、ソレヲ二度目ニ交付スルカシナ
イカト云フ點ニ限局シテ判断ヲ致シ、再交
付スルカ否カラ決定致シテ居タヤウナ譯
デアリマス、デアリマスカラ昨年ノ勅令改
正ニ依リマシテモ、其本質ハ少シモ變ッテ居
リマセヌ、更ニ恩給給興ニ付キマシテハ恩
給證書ト云フモノヲ使ハズニ、全然證書ナ
ドハ扱ハヌコトニシテ給興スルノモ一つノ
方法デアリマス、恩給證書ヲ全廢スル、別

ハーツノ方法デアリマス、是ハ自由ニ出來ルコトデアリマス、無論今日ハ證書ヲ使ッテ給興スル、ソレヲ方法トシ手段トシテヤツテ居リマスガ、是ナドハ廢ヌル時ニハ廢ヌテ、別ナ方法デモ給興スルコトモ出來ルト私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デ、今ハ證書ニ依ルコトニナツテ居リ、又證書ニ付キマシテハ、只今申上ゲタヤウナコトデ參ツテ居ルノデアリマシテ、ドウモ動モスレバ脱法的ニソレヲ擔保ニ供セラレルト云フヤコトガ有リ勝チナモノデアリマスカラ、私恩給局長在職中モ嚴ニ局員ヲ戒メテ、債權債務ノ方面ニ付テ介入スルコトハナラナイゾ、ソレハ参考ニ過ギナイ、唯恩給局トシテハ受給者ノ詐欺ニ加功スルヤウナ、サウ云フ行動ヲ執ルベキモノデナイト云フヤウナコトヲ消極的ニ申シマシテ、全ク證書ガ存在スルヤ否ヤ、而シテ證書ノ存在セザルニ至ル原因ガ本人ノ故意ニ基クヤウナ場合、見テ居ル所デ燒イテシマッテ又再交付シテ吳レト云フヤウナコトヲ言ッテ來テモ給付スル譯ニハ行キマセヌ、サウ云フ種類ニ屬セザルカ否カト云フコトヲ能ク考ヘヨト云フコトヲ申シテ居ツタ次第デアリマシテ、

ニ入ルコトヲ嚴ニ警メテ居ツタ譯デアリマス、恩給金庫ガ出來マスト昨年モ申シマシタ譯デスガ、今度入レマス十一條ノ第二項ノ如キ、差止——是ハ停止デハアリマセヌガ、一時支給スル金ヲ控ヘテ置クト云フダケノコトデ、是ハ現在デモ遞信省令デモヤリ得ルコトデアリマスケレドモ、特ニハッキリシテ置イタ方ガ宜イト云フコトデ法律ノ方ニ明ニシマシテ、是ハ先程高木恩給局長カラ申上ゲマシタ通リニ、受給者ノ方デ餘リニ不當ナコトヲ言ツテ居ツタノデ、乗移リノ場合ナドヲ考ヘルノデアリマスガ、後々マデ横ニ車ヲ押スト云フヤウナ状態ニナレバ、是デ差止ヲヤリ得ル、現在ノ法規デモ出來マスケレドモ、法律ニ根據ヲ置イタ方ガハッキリスルト云フコトデ、此法デ抑ヘルコトガ出來ルシ、又金融業者ノ方デ不當ナルコトヲ言ツテ居ルナラバ、其方面ハ證書註文ラスルモノガアリマスケレドモ、不當證書ト云フモノヲ全廢スル方法ニ依リ、サウ云フコトハ制限スルコトガ出來ル、最モ公平妥當ナルコトニ依ツテヤルノガ、是ガ國家的ニ見テ宜イノデハナイカト云フコトヲ考ヘタ次第デアリマス、前後ノ事情ヲ申上ゲテ置キマス

○高橋委員 詳細ナ御答辯ヲ承リマシタ
ガ、勿論只今御尋ノ趣旨ハ、當局ト債権債務ノ關係ガドウ斯ウト云フヤウナコトハ一
寸私豫想シテ御尋シタノデハナイノデアリ
マス、尙ホ具體的ニ申上ゲマスレバ三十六
條一項ノ亡失、毀損、是ハ只今ノ御答辯ノ通
リデアルト私モ考ヘル、御尋セントスル趣
旨ハ第二項ノ「恩給證書ヲ呈示ノ用ニ供ス
ルコト困難ナル狀況ニ在ル場合」、此場合ハ
具體的ニソレハ當局ガ御判斷ナサルト思
フ、之ヲ御判斷ナサル場合ニ如何ナル標準
ヲ以テ呈示ノ用ニ供スルコトガ困難ナル狀
況ニアルト判斷ナサルカ、聞ク所ニ依リマ
スレバ、内容證明ヲ以テ債務者ガ債權者ニ
對シテ、豫テ恩給受領ノ委任ヲシテ置イタ
ガ、都合ガアルカラ其契約ハ解除スルト云
フコトノ内容證明ヲ添附シテ當局ヘ差出セ
バ、當局ハ直チニ慥カ第二項ト考ヘマスガ、
之ヲ以テ再交付ノ理由トシテ御取扱ニナッ
テ行クト云フコトデアリマスカ、其點如何
ニナツテ居リマスカ

上ゲマシタヤウニ、恩給局ノ方針ト致シマ
シテハ、債權、債務ノ關係ニ深入ラシナイ、
併ナガラ呈示困難ナリト云フ事實ノ認定ノ
参考ノ資料トシマシテ、顧末書ヲ出サセマ
シテ、顧末書ニ依ツテ詳細取調ベマシタ上デ
判断ヲ致シマス

○高橋委員 サウスルト其受給者ノ主張ヲ
唯一ノ根據トシテ御取扱ニナッタ、斯ウ云フ
コトニ伺ツテ宜シイデスカ

○高木政府委員 受給者ノ主張ノミヲ以テ
ト云フ譯デハアリマセヌデ、尙ホ其際ニ疑ハ
シイ點ガアリマスレバ、照會ヲ發スル、或
ハ市内デアリマスレバ本人ノ出頭ヲ求メマ
シテ詳細ニ取調べテ居リマス

○高橋委員 大審院ノ判例ノ第八卷七百七
十九號、其判例ニハ恩給受領權者ガ恩給ノ
受領ヲ自己ノ債權者ニ委任スルト同時ニ、
債權者ガ受領シタル恩給ヲ以テ債權ノ辨濟
ニ充當スルコトヲ約スルハ、恩給ヲ以テ他
人ノ權利ノ目的ト爲スニ非ザルヲ以テ有效
ナリ、又同ジク判例ニ、擔保ニ供スルノ目
的ヲ以テ恩給證書ヲ交付スルハ不法ノ原因
ニ因ル給付ト謂フヲ得ザルモノトス、斯ウ
云フ判例ガアルノデアリマスガ、此判例ノ
趣旨カラ致シマシテ、勿論是ハ繰返シテ申
シマスガ、惡金融業者ガ特殊ナ債權デアリ、
恩給受領權ノ申請ヲ侵害スル、其點ハ大イ
ニ打破シナケレバナラヌト思フノデアリマ
スガ、法律ノ原則デアル、繰言ナガラ契約
ノ自由ノ原則ニ從ツテ、真ニ斯ウ云フ約束
トデアル、其當然ヲ判例ニ現ハシタニ過ギ

シテ見テモ、其他道徳的ナ立場カラ考ヘテ
モ、當然保護スペキモノデアルト思フガ、
其保護ニ缺クル所ナキ周到ナ御取扱ヲ當局
ニ望ムノガ私ノ目的ナシ、只今ノ御答
辯ダケデハ稍、形式ダケノ御調査、疑ハシ
ケレバ債務者ヲ御呼ビニナツテ御尋ニナル
ト云フコトデアリマスガ、債務者ヲ御呼ビ
ニナツテ御尋ニナツタ實例ハオアリニナリマ
スカ

公正ナ取扱ヲ私ハシテヤリタイ、斯ウ云フ
考カラ御尋ヲシタ譯デゴザイマスガ、當局
ニ望ム所ハモウ少シ一方ニ於ケル判例ノ趣
旨ニモ參酌ナサツテ、サウシテ適切ナ具體的
ノ御取扱ヲ願ヒタイ、左様ニ希望致シテ置
キマス、ソレカラ大體時間モ追ツテ參リマス
カラ或ハ漏レタコトガアレバ、他ノ方ノ質
問ノ繼續中、更ニ補充ノ御尋ヲ申上ゲルカ
モ知レマセヌガ、此程度ニ致シマス、只今
個々ノ質問ノ間ニ織込ンデ申上ゲマシタル
通り、此金庫法案ト云フモノハ、船田政府
委員モ、先程郵便局ガ官營デアルト云フヤ
ウナ感ジヲ齎スト云フヤウナ御意見ヲ御述
ベニナツテ居ラレマシタガ、寧ロ世間ハ
此恩給金庫ガ官營ノヤリ方ナノダト云フヤ
ウニ考ヘテ居ル向キガ多イノデス、成程嚴
格ナ法律ノ解釋カラ申セバ、無論官營デナ
イコトハ明カデスガ、ドウモ斯ウ云フヤウ
ナ構成デ、何モ彼モオ役所ノ指令監督ヲ
以テ之ヲ組織スル、遂行スルノダト云フ
ヤウナコトニ付テ、何等カ只今マデノ民間
デ行ハレタ金融ガ、ドウモオ役所ノ苦シイ
型ニ嵌メラレルノダト云フヤウナ、氣持ヲ
持ツテ居ル者ガ多イヤウデアリマスガ、其實
ノ動向カラ見テモ、ドウモ總テガ官吏萬能

ノ方向ニ誘致セラレツ、アルノダト云フヤ
ウニ考ヘラレル事實サウナッテ居ルコトヲ
私ハ申上ゲタイ、ソコデ寧ロ郵便局ノ窓口
ト云フモノハ、前ニ船田法制局長カラモ仰
シヤッタ通り、本當ニ民衆的ナ、平易ニ行ケ
ル場所デアリマスカラ、サウ云フ方ガ、ヤ
ハリ受恩給者、即チ債務者側ノ方モドウモ
足ヲ運ビ易イノダト云フヤウニ考ヘラレ
ル、其一ツノ理由カラモ私ハ先程郵便局取
扱ノ問題ヲ携ゲテ御尋シタノデアリマス、
要スルニ私共ハ、恩給金庫ノ設立ト云フモ
ノノ真ニ不可缺ナ重要性ハ何處ニ在ルカト
云フコトガ中々現在モ擱メナイ、擱メナイ
カラ、私共ハマダ是ガ最モ必要ナ法案ナノ
ダト云フコトガハッキリト私共ノ頭ニハマ
ダ参リマセヌ、尙ホ今迄ノ速記録ヲ拜見シ、
是カラノ同僚諸君ノ御尋ヲ綜合致シマシテ、
若シ漏レテ居タ所ガアレバ、御尋スルコト
ヲ留保シテ、只今マデノ法律ニ關シマシテ
ノ御尋ハ、之ヲ以テ終了致シマス
尙ホ最後ニ、冒頭ニ申上ゲテ置イタ通り、
恩給年金ニ關シマシテハ、只今マデノ同僚
ノ委員各位ノ質問、茲ニ是カラノ各委員ノ
質問ヲ拜聽致シマシテ、若シ漏レテ居ル點
ガアレバ補充的ニ質問致シタイト思フノデ
アリマスルガ、此際特ニ唯原則的ナ私ノ考

○政府ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、恩
給年金等ハ國民トシテ國家ニ赤誠ヲ捧ゲタ
尊ブベキ恩賞デアルコトハ申ス迄モアリマ
セヌガ、唯此間ニ、通常ノ無難ニ或ル期間
ヲ経過シタニ過ギナイト云フ筋ノモノト、
身命ヲ賭シテ、即チ命ヲ的ニ賭ケテ、君國ノ
爲ニ危難ノ場所ニ來往シテ、或ハ生命ヲ失
ヒ、或ハ傷イタト云フ、此愛國者ニ對スル
恩賞トハ、其程度、方法ト云フモノニ自ラ
其根柢ニ於テ差異ナキヲ得ナイノハ當然デ
アルト考ヘルノデアリマス、ソコデ總テノ
此改正ノ御取扱ハ、ソレヲ基調トシ、出發
點トシテ、當局ノ御取扱ヲ願ヒタイ、此點
ダケラ、私希望ヲ申上ゲテ本日ノ質問ヲ終
リマス

○前田委員長 皆様ニ御希望致シマス、本
委員會ハ、御承知ノ如ク既ニ九回開會ヲ致
シテ居ルノデアリマス、隨テ出來レバ本日
ヲ以テ大體ノ質問ヲ終了致シタイト考ヘテ
居リマスノデ、ドウゾ成ベク重複ヲ避ケテ
御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、本日ハ午後
一時マデ休憩ヲ致シマス

午後零時休憩

午後一時四十九分開議

○前田委員長 休憩前ニ引續キ委員會ヲ開
キマス——小高長三郎君

○小高委員 私が政府ニ御尋シタイ點ハ、大體ニ於テ金鷲勳章年金ヲ増額シテ戴キタ、此趣意ガ私ノ今回本金庫ニ付テ御質問申ス所以デアルノデアリマス、只今休憩中ニ、雜談的デハアリマスルガ、森山政府委員ヨリ、是ハ既ニ閣議ヲ經タ問題デ、ソレニ對シテ將來増額ヲ考慮シヨウト云フコトハ、政府トシテハ申スコトガ困難デアルト云フ御話ヲ伺ツタノデアリマス、併シ閣議ノ意見ナルモノハ、必シモ是デ決定シタト云フ意味ニ私ハ解スルコトガ出來ナイノデアリマス、此點ヲ政府委員ニ御伺シテカラ、各條項ニ互ツテ或ル程度マデ御質問申上げテ見タイト思フノデアリマス、モウ一遍公式ニ森山サンカラ御答ヲ得ラレ、バ幸ヒダト思ヒマス

○森山政府委員 金鷲勳章年金ノ問題ニ於ケル請願ニ付キマテハ、從來度々議會ニ於ケル請願ニモ現レテ居リマス、又成規ノ質問書ノ提出モアツタノデアリマシテ、之ニ對シテハソレムノハ武勳拔群ナル方々ニ對ソレムノハ武勳拔群ナル方々ニ對致シテ居ルノデアリマス、其要旨ハ、金鷲勳章年金ト云フノハ武勳拔群ナル方々ニ對スル榮譽ノ表彰トシテ御下賜ニナリ、金鷲勳章其モノニ併セテ御下賜ニナル恩賞デアッテ、生活費給與ト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ

居ナイモノデアルト云フ點ト、既ニ昭和二年ニ或ル程度ノ増額ガアツタガ爲ニ、現在ニ於テハ之ヲ増額スルコトハ必要ヲ認メナイト云フヤウナ趣旨ナノデアリマス、只今座談的ニ申上げテ居ツタコトニ付テ御質問ガアツタノデアリマスガ、ソレハ昨年ノ二月二十日附内閣總理大臣カラ、衆議院議員中村又一サンカラ提出ニ相成ツタ戰役受勳者待遇ニ關スル質問ニ對シテ、今私ノ申上げタヤウナ趣旨ノ答辯書ヲ提出シテ居ルノデアリマス、其事ヲ申上げタノデアリマシテ今御述ニナリマシタヤウニ、是ハ政府トシテ正式ニ答辯書ヲ提出シテ居ルノデアリマスカラシテ、勿論是ニハ相當ノ研究モシ考慮モ加ヘテノコトデアリマススルガ故ニ今之ヲ輕々シク變更シテ政府委員カラ答辯スルコトハ出來ナイト云フヤウナ意味ヲ座談的ニ申上げタノデアリマス、今日色々尙ホ御質問モアルヤウデアリマスガ、ソレニ付テハ勿論政府委員トシテ答辯シテ宜シイ事柄ハ喜ンデ御答辯ヲ申シタイト考ヘテ居リマス

○小高委員 モウ一點私ハ御尋シテ見タイノデアリマスガ、只今森山政府委員カラモ御話ノアツタ通り、是ハ既ニ決定サレテ、サウシテ前代議士ノ中村又一君ニ答ヘテアルト思ヒマスガ、此點ニ付テ如何ニ御考カラシテ、政府ノ方針ガ或ル程度マデ決定サレタモノデアル、是以上ノ御答辯ハ出來アル通り、恩給及ビ勳章年金ハ其性質及ビ現行法規ニ鑑ミ、之ヲ擔保ニ供スペキモノデハナイコトハ明カデアリマス、然ルニ金融ノ途ヲ講ズルコトハ如何ニモ便宜主義ト争ニ從軍サレマシタ此帶勳者ハ、多クハ六十過ギタ人或ハ六十二近イ人デアル、是ガ山サンノ仰シヤル通り確ニ恩賞デアリマス十過ギタ人或ハ六十二近イ人デアル、是ガ假ニ生活困難ナル場合、金鷲勳章ハ只今森山サンノ仰シヤル通り確ニ恩賞デアリマス加サレテ居リマスルガ、其一時金デハ其時ダケノコトデ永遠ノ帶勳者ノ生活費ニハナリ得ナイノデアリマス、其點ヲ吾々同志ハ非常ニ社會ノ上カラ見テ、假ニ今回ノ事變ニ依ツテ拔群ノ功績ノ結果、其恩賞ニ浴スル場合ハ、必ず或ル程度ノ年金モ附ケラレルコトト私ハ想像スルノデアル、是ハ現在ノ國內情勢竝ニ有ユル方面ノ輿論デアリマシテ、ト云フコトハ、實際ノ状態ナイノデゴザイマシテ、此實際ノ状態ヲ合法化セシムル爲ニ此金庫法案ヲ提出致シマシタ譯デアリマス

○小高委員 モウ一點御尋シテ見タイノハ、本金庫法ノ成立ニ依リ便宜ニ恩給及ビ年金ヲ一時ニ多額ノ融通ヲ受ケタル者ハ之ヲ消費シテシマヘバ一定年限、即チ返済ヲ終ルマデ恩給年金ノ受領ハ恩給金庫ニ代理受領セラレテ、却テ困難ニ遭遇スル者ガ多數ア

ノ表徵ト云フ意味ニ於テ御下賜ニナル所ノ恩賞デ、生活費給與ト云フ性質ヲ帶ビテ居ガラ年金ハ正ニ財產的ノ給付デアリマスカラ、無論物價ノ變動ト云フヤウナコトモ考ヘ合セテ、其多イ少イヲ論議スルノハ如何力ト思フノデアリマスガ、少クトモ財產的ノ給與デアリマスカラ、其性質ハ勿論生活費給與ト云フモノデハナイノデアリマスケレドモ、ヤハリ既ニ昭和二年ニハ多少ノ増額ヲセラレテ居ルノデアリマス、隨テ勳章年金ヲ絶對ニ増額スベキ性質ノモノデハナイトハ考ヘナイノデアリマス、唯御存ジノ通リ國費極メテ多端ノ折柄デアリマシテ、財政ノ現狀ニ徵シテ今之ヲ増額スルト云フコトハ非常ニムツカシイ問題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、年金ノ額ガ其御制定ノ當時ト比較シテ、物價ノ變動ト云フヤウナコト考ヘ合セテ、決シテ是デ十分ダトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、若シモ財政ノ餘裕ガアシテ、之ヲ増額シ得ルナラバ、増額シタイトモ思フノデアリマスガ、現在ノ財政狀態ニ於テハ之ヲ實現スルノニ相當困難デアル、勳章年金受給者ニ對シテハ、確ニ御氣ノ毒ナ所

ハアルノデアリマスケレドモ、國家全體ノ財政ト云フヤウナコトト考ヘ合セルト、中々之ヲ増額スルト云フヤウナコトニ致スノハ困難デアル、斯ウ云フ風ニ申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス

○小高委員 只今政府委員ハ、國家ノ財政ノ立前カラ増額ハ困難デアルト云フ御説明デアリマスガ、金鷄勳章年金ト云フモノハ、年々減ツテ行クノデアリマス、一方ニ於テ恩給ハ減ルカト云フト、私ガ御説明申上ゲヌデモ、政府委員御承知ノ通り、年々增加シテ行クノデアリマス、此點カラ行キマシテモ、私ハ金鷄勳章ト云フモノハ特別ニ御考慮ヲ願ヒタイ、同時ニ私ハ金鷄勳章年金ト、比較ト云ツテハ失禮デアリマスガ、比較ノ意味ヲ以チマシテ、若シ御手許デ御説明ナリ書類デ拜見出來マスレバ結構デアリマスガ、明治二十七八年頃ノ陸軍上等兵及ビ伍長或ハ巡査又ハ小學校教員、訓導等ノ恩給額ハ如何程ニナツテ居ルカ、又前述ノモノノ現在ノ恩給額如何ヲ御説明願ヘマシタラ伺ヒタイノデアリマス——只今調査ニ御手間ガ取レ、バ別ノ項ニ移ツテ御尋シタイト思ヒマス、御尋シタイ點ハ、金鷄勳章年金ハ明治二十八年日清戰役ノ論功行賞ノ際一般的ニ實施セラレ、功七級年金百圓ニシ

テ當時米三十俵ヲ購フニ値スル金額ナリシ
ニ、今日ハ米三十俵ノ値ハ何程ナリト思ヒ
マスルカ、即チ當時ニ於テハ金百圓ノ給與
ニ依リ功七級ノ待遇ヲ取扱ヒタリト思料ス
ルガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ、此點ヲ
御伺シマス

○森山政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、物價
ノ動キ等ト對比シテ考ヘレバ、現在ノ額ガ
非常ニ少イト云フコトハ勿論政府モ認メテ
居ルノデアリマス

○小高委員 是ハ吾々同僚ガ議會ニ於テ時
ノ永田軍務局長ヨリ伺ヅタノデアリマスル
ガ、永田軍務局長ハ此金鶴勳章年金問題ニ
付テ爾ク御答辯ヲナス^テ居ルノデアリマ
ス、金鶴勳章年金ハ單ニ御褒美ト云フバカ
リデナク、武功抜群ノ殊勳者トシテ、名譽ノ
體面ヲ保持セシムル御恩召ガ含マレテ居ル
モノデアル云々ト述ベテ居ラレマスルガ、
政府委員ニ於カレテモ、之ヲ御認メニナリ
マスヤ否ヤ御尋スル次第デアリマス

○森山政府委員 先ニ他ノ政府委員ガ御述
ニナツタコトヲ御引用ニナツテ、ソレト同ジ
ヤウナ御考ヲ持ツテ居ルカト云フ御質疑デ
アリマスガ、大體御同感デアリマス

○小高委員 先刻來屢、政府委員ノ御言葉
ニ現ハレテ居ルヤウニ、政府ハ金鶴勳章年

ヲ必ズシモ論議スペキデナイト云フ意味ヲ
御述ニナツテ居ラレルノデアリマスガ、明治
二十八年制定セラレ、實施セラレタル金鷲
勳章年金功七級ノ者ニハ百圓ヲ給シテ、其
百圓ナルモノハ當時ソ生活狀態カラ見テ必
シモ安クハナイノデアリマス、然ルニ當
時此位ガ適當デアルト審議ノ結果ガ決定ヲ
シタルモノデアルト思ヒマスルガ、政府ニ
於カレテモ左様御考ヲ持ッテ居ラレルヤ否
ヤ、即チ此名譽ノ表彰ニ必要ナリトシテ百
圓トカ三百圓トカ物質的ニ待遇ガ制定セラ
レテ居ル以上、他ノ國家ノ給與ガ、恩給デア
ルトカ賜金デアルトカ、俸給等ガ、——價
値ノ變動ニ依ツテ、五十圓ガ百圓トナリ、或
ハ百五十圓トナリ更ニ二百圓ト増額向上シ
タ以上、金鷲勳章年金モ亦金ノ給與デアル
以上ハ、同率ノ改正ヲ爲サルコトガ當然ト
思ヒマスルガ、政府ハ如何ニ御考デアリマ
スカ

ニ係ル勅令第百七十三號ヲ以テ交付セラレ、
一般下士卒ニ受ケラル、功七級年金ハ六十
五圓ト定メラレマシタガ、功一級以下各級
年金ト共ニ日清戰役ニ際シテ、愈、其功績
ニ對シテ行賞ヲ實施スルニ當リマシテ改正
スルコトナリ、功七級年金ノ六十五圓ハ
寡少デアルト云フ理由カラ、即チ翌二十八
年勅令百十號ヲ以テ同年金ハ金百圓ニ増額
セラレ、之ヲ實施サレタモノデアリマス、
政府ハ以上ノ關係理由等カラ見マシテ、今
日ノ場合年金ノ改正ハ當然ト思フノデアリ
マス、我國ニ於キマシテハ、一般恩給ノ總
年額ハ大正元年ニ於テ僅ニ二千万圓デアッ
タモノガ昭和五年ニ於テ驚クナカレ一億四
千三百八十万圓トナリ、正ニ七倍ノ増額デ
アリマス、之ニ較ベマシテ金鵄勳章年金ハ、
大正元年度ニ於テ總年額千百万圓デアッタ
モノガ、昭和九年ノ現在ニ於テ約千百万圓、
昭和二年度ノ改正増額竝ニ最近新ニ受ケタ
者ノ年金モ加ヘテ、其財源ハ二十年間何等ノ
增加トナツテ居ラナイノデアリマス、今日ニ
員年々先刻申上ゲタ通り減ズルノデアリマ
ス、國家ノ負擔ハ減少サレマスレバニソレ
ダケノモノガ勳章年金デ減ル以上ハ、少ク
トモ此點ダケデモ十分政府ハ御考慮願ヒマ

シテ、減少サレル金額ダケデモ増加額ニ
ヘテヤル御考ヲ持ツテ戴キタイノデアリマ
ス、恩給ハ既ニ中央ダケデ年額一億圓ニモ
達セントスル今日ニ於テ、年金ノ改正ハ殆ド
二十年間放任シテ置クト云フ状態デアリマ
スカラ、年々歳々是等ノ運動ガ猛烈ニナツテ
來ルノデアリマス、ドウゾ繰返シテ申上ゲ
ルヤウデアリマスルガ、政府ハ一層ノ御考
慮ヲ願ヒタイノデアリマス、先刻ノ御答辯

ノ價値ヲ實際ノ問題トシテ如何ニ政府ハ見ラレテ居リマスルヤ、此點モ御尋致シマス
○森山政府委員 金鷲勳章年金ハ、榮譽ノ表徴タル金鷲勳章其モノニ併セテ御下賜ニナル所ノ恩賞デアリマシテ、隨テ假令金鷲勳章年金ガナクテモ、榮譽ノ表徴タル金鷲勳章其モノノ價値ニ變リハナイト思フノデアリマス、要スルニ金鷲勳章及ビ金鷲勳章年金ハ、之ヲ合セテ武勳拔群ナル人々ニ對シテ其榮譽ヲ表彰スル爲ニ御下賜ニナルニツノ恩賞デ、金鷲勳章年金ヲ若シ金鷲勳章ヨリ之ヲ除外シタナラバ、言換レバ、金鷲勳章ノミノ恩賞トナシタナラバ、ソレデ果シテ多クノ人ノ羨望スル金鷲勳章ノ價値アリヤ否ヤト云フヤウナ御質疑ノヤウデアリマスガ、假令年金ヲ除外シテモ金鷲勳章ノ價値アリニ差異ナキモノダト政府委員ハ考ヘテ居リマス

○小高委員 拔群ノ功勞ヲ認メル限リニ於テハ、今ノヤウナ御答辯ハ私ハアリ得ナイト思フノデアリマスガ、先刻森山サンカラ相當吾々ノ主張ニ近イ點ヲ御説明ナサレマシタノデ多クヲ申上ゲマセヌ、此金鷲勳章年金増額ノ問題ニ付テハ、衆議院ノ如キハ十數回請願サレテ採擇ニナッテ居ルノデア

リマス、而モ貴族院ニ於テモ毎回採擇ニナツテ
居ルニ拘ラズ、ドウモ政府ガ之ニ對シテ年々
同ジヤウナ答辯ヲシテ、御考慮ヲセラレナ
イト云フコトヲ非常ニ遺憾トスルモノデア
リマスガ、近衛内閣ナルガ故ニ、近衛公爵カ
ラ特ニ此問題ニ付テ、昭和九年ノ時ノ内閣
總理大臣子爵齋藤實閣下ニ提出シマシタ意
見書ヲ此處デ朗讀致シマス「意見書戰役殊
勳者待遇改善ノ件、東京市麻布區笄町八十
番地辯護士中村又一外五百四十二名提出

リマス、而モ貴族院ニ於テモ毎回採擇ニナツデ
居ルニ拘ラズ、ドウモ政府ガ之ニ對シテ年々
同ジヤウナ答辯ヲシテ、御考慮ヲセラレナ
リマスガ、近衛内閣ナルガ故ニ、近衛公爵力
ラ特ニ此問題ニ付テ、昭和九年ノ時ノ内閣
總理大臣子爵齋藤實閣下ニ提出シマシタ意
見書ヲ此處デ朗讀致シマス「意見書戰役殊
勳者待遇改善ノ件、東京市麻布區笄町八十
番地辯護士中村又一外五百四十二名提出
右ノ請願ハ金鷲勳章年金ハ曩ニ一部ノ增
額ヲ見タルモ、尙俸給、恩給其ノ他ノ國家
諸般ノ給與ニ比シ其ノ額匹儕セス、斯クテ
ハ士氣振興上遺憾ナルニ依リ、同年額ハ之
等諸給與ト同比率ニ改正増額セラル、等戰
役殊勳者優遇ノ途ヲ速ニ講セラレタシトノ
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ
依リ別冊及送付候也昭和九年三月貴族院議
長公爵近衛文麿内閣總理大臣子爵齋藤實
殿」斯ウ云フ具合ニ貴族院デモ特ニ意見
書ヲ添ヘテ時ノ内閣總理大臣ニ出サレタノ
デアリマス、吾々ハ此問題ニ付テ只今森山
政府委員ノ御答辯ニアリマシタヤウナ、金
鷲勳章ハ年金ヲ除外シテ論ズルコトハ出來
ナイ、此例ハ屢々出タノデアリマスガ、吾々

ハ是等老兵ガ國家ノ爲ニ盡シテ、年金ヲ貰ッタガ、ソレハ既ニナイ、生活ニモ困難ダ、唯金鵄勳章ト云フ有難イ恩賞ヲ得テ居ルダケデ、生活上堪エラレナカッタラ、私ハ國家ガ此者ヲ或ル程度マデ救濟スル方法ニ付テ、御考慮ヲ爲サルコトガ當然デアルト思フノデアリマス、其意味ヲ以チマシテ、私ハ以上御質問申シタ所以デアリマス、何分政府ニ於カレマシテモ、十分御考慮下サイマシテ、吾々ノ趣意ヲ達成スルヤウニセラレンコトヲ切望致シマシテ、委員諸君ニモ長イ時間ヲ御借用シタコトヲ御詫申上げマシテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○塚本委員 私ハ恩給法ノ改正ノ中デ、陸軍當局ノ御意見ヲ承リタイ點ガ一二點アリマスガ、政府委員ガ御見エニナラヌヤウデアリマスカラ、是ハ後廻シニシマシテ、恩給金庫法案ノコトニ關聯シマシテ、二三質問ヲ致シタイト思ヒマス、只今マデ多クノ同僚各位カラ熱心ナル質疑ガ交サレマシタコトノ大部分ハ既ニ質疑ガ行ハレタノデ、私モ諒承スル點ガ非常ニ多カッタノデアリマス、ソレ等ノ點ハ出來ルダケ私ハ省略シタイト考ヘテ居リマス、委員會ニモ努メ出席シマシテ、各位ノ御意見ヲ能ク承リ

マシタノデ、重複ヲ避ケタイト思ヒマスガ、尙ホ重ネテ御伺ヒシタイコトモアリマスル、併シ意見ハ十分ニ承ツテ居リマスルカラ、私ノ質問モ出來ルダケ簡潔ニシ、御答辯モ亦要領ヲ得テ簡潔デアリマスナラバ、私ハ満足スルモノデアリマス、第一番ハ恩給金庫ヲ設立致シマシタナラバ、先づ第一番ニ誰デモガ願フ所ハ、出來ルダケ簡便ニ、又利子ヲ安クシテ金融ノ途ヲ開イテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘルノガ此恩給金庫設立ノ對象トナル受給者ノ願フ所デアルト思ヒマス、隨ヒマシテ利子ヲ出來ルダケ安クスルヤウニト云フ質疑ガモウ相當多方面カラ繰返サレタノデアリマス、私モ此點ガ最モ重要ナ點ダト思ヒマスノデ、尙ホ重ネテ一二點御伺シタインデアリマスガ、私ハ七十議會以來、此恩給金庫法ノ利子ハ五分以下ニ止メテ貰コトガ出來ナイダラウカ、其點ニ付テモウヤウニシタイ、斯ウ考ヘルコトト、ソレカモウ少シ増額シ、配當ノ要ラナイ金ヲ使フ配當ノ要ラナイ資金ノミヲ吸收スルト云フコトガ出來ナイダラウカ、其點ニ付テモウ一應突進シダ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ今度ハ支出ノ方面デ出來ルダケ經費ヲ節約シナケレバナリマセヌガ、是モドナタカノ御質問ニアリマシタガ、報酬ガ餘リニ高過ギルノデハナイカト思ヒマス、私共ハ斯ウ云フ方面ニハ極メテ經驗ガナインデアリマシテ、職場ニ勤イテ居リマスル勞働者トシテハ、其邊ノ事情ガ能ク分ラナイノデアリマスガ、ドウモ吾々ノ眼カラ見ルト、斯ウ云フ地位ニ立タレル人ノ報酬ガ餘リ高

ナコトニナツテ居ルノデアリマス、出資金、利息ノ出來ルダケ安イモノヲ金庫ニ借りリテ來ルト云フコトガ一ツノ方法デアルノト、更ニ、事業費ト云フモノヲ出來ルダケ節約シテ、経費ヲ省イテ行クト云フ、此二方面ヲ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、出資ノ方ニ付テハ大體色々伺ツテ居ルノデアリマスカラ、此上トモ其方面ニ御盡力ヲ御願ス面ニ付テハ大體色々伺ツテ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘルノガ此恩給金庫設立ノ對象トナル受給者ノ願フ所デアルト思ヒタスカラ、此上トモ其方面ニ御盡力ヲ御願スニ付テハ大體色々伺ツテ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘルコトト、ソレカモウ少シ増額シ、配當ノ要ラナイ金ヲ使フ配當ノ要ラナイ資金ノミヲ吸收スルト云フコトガ出來ナイダラウカ、其點ニ付テモウ一應突進シダ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ今度ハ支出ノ方面デ出來ルダケ經費ヲ節約シナケレバナリマセヌガ、是モドナタカノ御質問ニアリマシタガ、報酬ガ餘リニ高過ギルノデハナイカト思ヒマス、私共ハ斯ウ云フ方面ニハ極メテ經驗ガナインデアリマシテ、職場ニ勤イテ居リマスル勞働者トシテハ、其邊ノ事情ガ能ク分ラナイノデアリマスガ、ドウモ吾々ノ眼カラ見ルト、斯ウ云フ地位ニ立タレル人ノ報酬ガ餘リ高

ナコトニナツテ居ルノデアリマス、出資金、利息ノ出來ルダケ安イモノヲ金庫ニ借りリテ來ルト云フコトガ一ツノ方法デアルノト、更ニ、事業費ト云フモノヲ出來ルダケ節約シテ、経費ヲ省イテ行クト云フ、此二方面ヲ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、出資ノ方ニ付テハ大體色々伺ツテ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘルコトト、ソレカモウ少シ増額シ、配當ノ要ラナイ金ヲ使フ配當ノ要ラナイ資金ノミヲ吸收スルト云フコトガ出來ナイダラウカ、其點ニ付テモウ一應突進シダ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ今度ハ支出ノ方面デ出來ルダケ經費ヲ節約シナケレバナリマセヌガ、是モドナタカノ御質問ニアリマシタガ、報酬ガ餘リニ高過ギルノデハナイカト思ヒマス、私共ハ斯ウ云フ方面ニハ極メテ經驗ガナインデアリマシテ、職場ニ勤イテ居リマスル勞働者トシテハ、其邊ノ事情ガ能ク分ラナイノデアリマスガ、ドウモ吾々ノ眼カラ見ルト、斯ウ云フ地位ニ立タレル人ノ報酬ガ餘リ高

ナコトニナツテ居ルノデアリマス、出資金、利息ノ出來ルダケ安イモノヲ金庫ニ借りリテ來ルト云フコトガ一ツノ方法デアルノト、更ニ、事業費ト云フモノヲ出來ルダケ節約シテ、経費ヲ省イテ行クト云フ、此二方面ヲ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、出資ノ方ニ付テハ大體色々伺ツテ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘルコトト、ソレカモウ少シ増額シ、配當ノ要ラナイ金ヲ使フ配當ノ要ラナイ資金ノミヲ吸收スルト云フコトガ出來ナイダラウカ、其點ニ付テモウ一應突進シダ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ今度ハ支出ノ方面デ出來ルダケ經費ヲ節約シナケレバナリマセヌガ、是モドナタカノ御質問ニアリマシタガ、報酬ガ餘リニ高過ギルノデハナイカト思ヒマス、私共ハ斯ウ云フ方面ニハ極メテ經驗ガナインデアリマシテ、職場ニ勤イテ居リマスル勞働者トシテハ、其邊ノ事情ガ能ク分ラナイノデアリマスガ、ドウモ吾々ノ眼カラ見ルト、斯ウ云フ地位ニ立タレル人ノ報酬ガ餘リ高

常ニ少イノヂヤナナイカ、一體此給料ノ與ヘ
ラレル人員數ト云フモノハ何人位アルカ
ト云フコトヲ伺ヒタイノト、モウ一ツハ次ニ
アル賞與デアリマスガ、此十六万四千圓ノ
賞與、ハ報酬ヲ取ル人ニハドレ位ノ賞與ガ與
ヘラレ、或ハ給料ヲ取ル人ニハドレ位ノ賞
與、ガ與ヘラレルノデアリマセウカ、一應御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

シマシテモ、ソレハ大シテ事實ノ上ニ影響ヲ及ボサナイノデヤナイカト考へマス、結果利子ガ安クナルカナラナイカト云フコトクダラウト考ヘテ居リマス、成ベク安イ金ヲ借リテ來マシテ、安ク貸スト云フ方針ヲ執ルノガ一番宜イノデハナカラウカ、又出资者ノ側カラ致シマシテ、各方面ノ出資者ヲ加ヘテ置キマスト云フコトガ、ヤハリ金庫ノツノ信用ヲ得ルト云フ上ニ於テ、又事業ヲ運營シテ行ク上ニ於キマシテモ何カト利便ガアルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマス、最小限ニ於テ出資ヲ求メルト云フ方針デアリマスカラ、其點ハ政府ノ出資ヲ殖ヤストカ、或ハ又全部政府ガ出資スルト云フコトニ假ニナリマシテモ、貸付ノ利子ニ影響スル額ト云フモノハ、ソレ程大キナ額デハナイモノト考ヘマス、是ハ庶民金庫ノ方ノ關係ナドヲ考ヘマスト、ヤハリ同様デアリマシテ、庶民金庫ノ方ニ於テモ、資本金ヲ運用スルト云フヨリモ、ヤハリ運用資金ハ借入金或ハ庶民債券ニ求メルト云フ方針ヲ執リテ居ラレルノデスガ、其點ハ恩給金庫ニ於テモ同様デアラウト考ヘマス、一面事業費ノ方ニ付キマシテハ、

是ハ成ベク節約スルト云フコトハ御説ノ通
リニ是非必要ナコトデアリマシテ、出來得
ル限リ節約ヲ致シタイト考ヘテ居リマスガ、
唯實際ノ運用ニ當リマシテ、金ガ少クテ十
分ナ活動ガ出來ナイト云フヤウナコトノア
リマセヌヤウニ、事業費ハ相當潤澤ニ組ン
デアリマス、マダ具體的ノ内容ニ付キマシ
テハ、ハッキリシタコトヲ申上ゲ兼ネルノ
デアリマスガ、報酬ノ點ニ付キマシテハ、
是モ先程來色々御意見ヲ伺ッタノデアリマ
スケレドモ、ヤハリ或る程度ニ報酬ヲ出サ
ナケレバ良イ人ハ來ナイ、非常ナ篤志家ガレ
アリマシテ、ヤッテ吳レルト云フコトニナレ
バ非常ニ仕合セデアリマスケレドモ、唯單
ニ報酬ヲ貰フ爲ニ來ルト云フヤウナ人ヲ求
メルノデアリマシタナラバ、如何ニ安イ報
酬デアリマシテモ實際ノ運用ガ旨ク行カナ
イト云フ結果ニナツテ、却テ不利益ニナル、
此恩給金庫ノ役員ハ他ノ職務ヲ兼ネルコト
ガ出來マセヌノデ、專心之ニ從事シナケレ
バナラスト云フコトニナリマスノデ、假ニ
民間ニ適當ナ人ヲ求メルト云フヤウナ場合
ニ於キマシテハ、相當ノ報酬ヲ出サナケレ
バ適當ナ人ヲ得ラレナイト云フ結果ニナル
ノデハナカラウカ、併ナガラ之ヲ實際運用
致シテ行キマス上ニ付キマシテハ、出來得

ルト云フコトニ付テハ、十分ノ努力ヲ致ス
積リデアリマシテ、豫定ノ計算ニヘ斯ウ出
テ居リマスガ、必シモ此通り實行スルト云
フ積リデモナイノデス、又此俸給ガ比較的
少イデヤナイカト云フ御尋ニアリマシテ、
此點ハ先般慥カ松田サ ンノ御質問デアッタ
ト思ヒマスガ、其際ニモ申上ゲマシタヤウ
ニ、私共ハ定額俸給ヲ高クシマシテ賞與ヲ
少クスルカ、或ハ賞與ノ方ヲ比較的多クシ
テ定額俸給ヲ減ラスカト云フコトノ利害ノ
問題ニナリマスト、是ハ餘程議論ガアルダ
ラウト思フノデゴザイマス、私共ノ見ル所
ニ依リマスト、兎角定額ノ俸給ト云フモノ
ハ當然ニ貰ヘルモノダト云フヤウニ考ヘラ
レ勝チデアリマシテ、ソレハ雇人ト云フ
側カラモ一般ノ心理デヤナイカト云フ風ニ
考ヘルノデス、寧ロ定額給與ハ幾分低クト
モ、其人ノ勤惰ノ成績ニ依リマシテ賞與ヲ
加減スルト云フ方ガ實效ガ舉ガルノデヤナ
イカ、此點ハ松田サンノ御説ト私ノ考ハ全
然反對デアリマスガ、サウ云フ意味ニ於テ
比較的賞與ヲ餘計ニ見積ツテ居ルノデス、ソ
レカラ又此金庫ノ本質ヲ十分諒解シテ居リ
マス人デアレバ、サウ云フコトハナイト思
フノデアリマスケレドモ、從業員ノ立場カ

ラ考へマスレバ、ヤハリ一般ノ銀行、會社ト云フヤウナモノヲ比較ニ考へマシテ、此金庫ガ給與ガ少イトカ何トカ云フヤウナコトヲ考へ易イコトダト考ヘルモノデアリマスルカラ、少クモ一般ノ從業員等ニ付キマシテハ民間ノ一般銀行會社等ノ釣合等モ多少考ヘマシテ、給與ヲシナケレバ、適當ナ人間ハ得ラレナインデアリマス、私共ノ考ヘルノハ、無論役員幹部ニ相當ナ人ヲ得ルコトガ必要デアリマスト同時ニ、此從事員側ト云フ見地ニ立チマスト、何時モ引ケ目得タイト考ヘテ居リマス、是ハ金ヲ借リニ大威張デ行ク場合ハ比較的少ナインデ、何時デモ何トナク引ケ目ヲ感ズルト云フコトガ普通デアリマスノデ、恩給金庫アタリニ付テモ、ヤハリ其點ハ餘程考ヘナケレバナラナイデヤナカラウカ、所謂官僚的ニナリマシテ、オ役所式ニナルト云フヤウナコトトデアルト思フノデアリマス、隨テ金庫ニ從事致シマス職員ナドニ付キマシテモ、隨分サウ云フ點ヲ考慮シテ採用シテ行キタ伊ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、學校ヲ出タテ

ノマダ經驗モ無イト云フヤウナ者ヲ頭數ダケ揃ヘルト云フコトデナクテ、相當社會ノト平タク申シマスレバ、借金ノ經驗デモ十分アルヤウナ人ヲ使フ方ガ私共宜イノデハナイカト云フ風ニ考へテ居リマス、サウ云フ點カラ考へマシテ、給與ガ多少多クナルト云フヤウナコトモ已ムヲ得ナイデヤナイカト云フ風ニモ考ヘテ居リマスガ、唯實行ノ上ニ於キマシテハ、御話ノヤウナ點ヲ十分考慮致シマシテ、適當ニ節約ヲ致シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○塚本委員 今ノ此概算セラレテ居リマスル給料ヲ以チマシテ、ドレ位ノ人員ヲ御使ヒニナル豫定デアリマスカ、ソレカラ賞與ノデハナイカト考ヘラル、ノデアリマス、斯

瘞軍人、將校等サウ云フ人々ノ中カラモ物色スレバ或ハ適當ナ人ガ經濟的ニ得ラレル

給料ヲ戴ク從業員ニ致シマシテモ、或ハ傷

タイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○塚本委員 今ノ此概算セラレテ居リマスル給料ヲ以チマシテ、ドレ位ノ人員ヲ御使ヒニナル豫定デアリマスカ、ソレカラ賞與ノ内譯モ御伺シタイ

○高木政府委員 大體今豫定トシテ居リマス人員ハ三百人ト云フ風ニ豫定致シテ居リ

マス、ソレカラ賞與ノ率ハ三箇月乃至六箇月程度ト云フコトニ考ヘテ居リマスガ、其

シテ貰ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第二ハ

何ト申シマシテモ簡便ニ容易ニ此金庫ヲ利

用セシメルト云フコトガ必要ダト思ヒマス、此點ニ付キマシテ、東京ニ本部ヲ置キマシテ、大阪、名古屋、廣島、福岡、仙臺ニ支所

ヲ設ケラレルノデアリマスガ、其他全國便

此官廳ハドウ云フモノヲ利用スルカ、是モ

マダ具體的ノ問題ハ考ヘテ居ラナイノデスガ、或ハ市町村役場デアリマストカ、郵便局デアルトカ云フヤウナコトガ起リ得ルモ

ノト考ヘマシテ、茲ニ官廳ト云フコトヲ加

ヘテ置イタノデアリマス、其他ノ業務ノ執

行ニ關スル事務ノ一部ト云フ其他ト申シマ

スノハ、既設ノ機關デアリマスル所ノ銀行
トカ會社トカ云フヤウナモノニ代理ヲ委託
スルヤウナ場合モアリ得ルカト考ヘテ居リ
マス、要スルニ金庫ト致シマシテハ、劃一
的ニドウ云フ機關ニ之ヲ委セルト云フヤウ
ナコトハ考ヘテ居リマセヌ、適當ナ場所ニ
適當ナ施設ヲ利用シヨウト云フ積リデアル
ノデス、ソレデアリマスカラ、既設ノ機關、
例ヘバ產業組合ト云フヤウナ所デ相當ノ成
績ガ舉シテ居ル、其所ガ一番便利ダト云フコ
トデアリマスレバ、其所ヲ金庫ノ代理店ナ
リ或ハ取扱店ナリニ致シマシテ、ソレ等ノ
既設ノ機關ヲ或ル程度ニ利用致シテ行キタ
イト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○塚本委員 是マデノ方々ノ質問應答ニ依ッ

テ、郵便局ヲ利用スルコトハ困ルト云フ御
答辯ヲ得テ居ツタノデスガ、今局長ノ答辯ニ
依リマスト、官廳ト云フモノノ中ニ、郵便
局或ハ町村役場等ガ含マレルト云フコトデ
アツタガ、是ハ實際ニ郵便局ヲ利用スルヤウ
ニシテ戴ケルノデアルカ、或ハ市町村役場
ヲ利用スル、取扱ガ行ハレルヤウニナルノ
デアルカ、其點ヲ重ネテ御伺致シマス

○高木政府委員 郵便局ヲ利用致シマスニ
付キマシテハ、最初大分考ヘタノデスガ、
之ニ付キマシテモ、色々利害ガアルノデア

的ニドウ云フ機關ニ之ヲ委セルト云フヤウ
ナコトハ考ヘテ居リマセヌ、適當ナ場所ニ
適當ナ施設ヲ利用シヨウト云フ積リデアル
ノデス、ソレデアリマスカラ、既設ノ機關、
例ヘバ產業組合ト云フヤウナ所デ相當ノ成
績ガ舉シテ居ル、其所ガ一番便利ダト云フコ
トデアリマスレバ、其所ヲ金庫ノ代理店ナ
リ或ハ取扱店ナリニ致シマシテ、ソレ等ノ
既設ノ機關ヲ或ル程度ニ利用致シテ行キタ
イト云フヤウニ考ヘテ居リマス

リマシテ、一面カラ考ヘマスト、郵便局ガ
一般民衆ニ接觸シテ居ル機關デアルカラ、
郵便局ヲシテ扱ハシメルガ宜イト云フ意見
モアリマスシ、又一面カラ言ヒマスト、郵
便局ト云フモノハヤハリ官僚ノ出先デアリ
マスノデ、非常ニ規則的ニヤカマシイ、又
窓口等デ公ニ扱ハレルト困ルト云フヤウナ
意見モアルノデアリマス、ケレドモ亦一面
郵便局ヲ利用スルト云フコトニナリマスレ
バ、遞信省方面ニ十分ナ諒解ヲ得ナケレバ
ナリマセヌノデ、只今直チニ郵便局ヲ利用
スルカドウカト云フコトヲ御答申上ゲ兼ネ
ルノデスガ、地方町村役場等ニ付キマシテ
モ、同様ノ意味ニ於キマシテ、ハッキリ如何
ナル機關ヲ利用スルカト云フコトヲ決メ兼
ネマシタノデ、官廳其他ト云フコトデ漠然
ト書イタノデアリマス、實際ノ問題ニナリ
マシテ後ニ、今少シ十分ノ研究ヲ致シマシ
タ上デ、取扱機關ヲ定メテ行キタイト云フ
考デアリマス

○塚本委員 是ハ第二ノ質問ニ次ギマシテ

受給者ニドノ程度ニ便利ニ利用セラレルカ
ト云フコトハ、此處デ其死活ノ問題ガ分レ
テ來ルト思ヒマス、例ヘバ大阪ニハ支所ガ
一つ出來ルガ、其支所一ツダケデハ受給者
モアリマス、ソレガ出來ナケレバ、セメテ町村役場或ハ
都市ニ於キマシテハ市役所竝ニ區役所ノ兵
事係トカト云フヤウナ所デ、是ノ取扱業務
ヲ行ハシメタナラバ、非常ニ宜クハナイカ
考ヘテ居ルノデアリマス、更ニモウ一ツ
考ヘラレルコトハ、各地ニ在郷軍人會ガアツ
テ、在郷軍人會ノ分會ガソレヽアリマス
ガ、サウ云フ在郷軍人會ノ分會ノ事務所デ
之ヲ取扱フト云フコトモ考ヘラレマスガ、
サウ云フ點ニ付テ何カ御考ガアリマスカ

○高木政府委員 在郷軍人會ノコトニ付キ

マシテハ、私共モ利用ガ出來レバ、出來得
ル限り利用致シタイト考ヘテ居リマス、實
ハ内交渉中デゴザイマシテ、在郷軍人會ノ
幹部ニ其事ヲ申入レテアリマス、唯在郷軍
人會ノ規定其他カラ致シマシテ、果シテコ
チラノ希望通リニ應ジラレルカドウカト云
フコトハ、マダ此處デ申上ゲルコトハ出來
スカ

○高木政府委員 外地ノ問題ニ付キマシテ
ハ、主ニ満洲方面、臺灣方面等デアラウト
考ヘテ居リマスガ、是等ニ付キマシテハ、
只今ノ所具體的ノ方策ト云フモノハマダ樹
テ居ラヌノデアリマス、私ハ満洲ニ居リマ

シタ關係上滿洲ノ狀況ヲ見マスト、ヤハリ都會地ニ相當纏タル金融業者ト云フモノガアリマシテ、丁度昨年デアリマシタカ、餘リ是等ノ跳梁ガ激シト云フノデ、警察ノ方ガ活動致シマシタヤウナ例モアツクノデアリマス、ソレ等ノ實情ヲ參酌致シマシテ、適當ナ場所ニ適當ナ代理店、取扱店等ヲ置ク必要ガアルト考ヘテ居リマス。

○塚本委員 尚ホ此代行機關ノ問題デアリマスガ、曩ニ場合ニ依ッテハ、產業組合等ニモ取扱ハサシテハドウカト考ヘテ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ前ノ議會デハ産業組合ニ取扱ハスコトハ考ヘテ居ラスト云フ御答辯デアリマシタガ、今度ハ産業組合等ニモ取扱ハシテハドウカト云フ御方針ノヤウニ變テ居ルヤウニ伺ヒマシタガ、産業組合ノ外ニ、市街地ノ信用組合デアルトカ、ソレカラモウ一ツハ帝國軍人後援會、或ハ義濟會、是等ノモノニ付テモ事業ヲ一部委託スルコトガアルノデスカ、伺テ置キマス。

○高木政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ、前議會デ政府委員ガ答辯致シマシタ所ト、實質ニ於テハ變リハナイノデアリマシテ、代行機關ト申シマスケレドモ、所謂代行機關トシテ全部ヲ委託シテシマウト云フ意味

デハアリマセヌデ、適當ノ機關ガアリマスレバ、其適當ノ機關ヲ恩給金庫ノ手足トシテ使フト云フ意味ナノデアリマス、其點ハ前議會ニ於ケル政府委員ノ考モ同一デアッテラウト考ヘマス、ソレデアリマスカラ、タラウト考ヘマス、ソレデアリマスカラ、例ヘバ產業組合ナリ或ハ信用組合ニ付テ申シマスレバ、相當ナ信用ガアリマスレバ、其或ル部分ヲ恩給金庫ノ手足ト致シマシテ、其處デ實際ノ仕事ヲ扱ハシメルト云フコトニ致スノモ宜イデハナイグラウカ、軍人後援會等ニ付キマシテモ、大體只今考ヘテ居リマスノハ、其會ノ成立チノ特殊デアルト云フ點カラ考ヘマシテ、又擔保金融ガ一般ノデアリマスカラ、是ハ出來得レバ、其儘使用致シマシテ、金融業者ノ行フヤウナ目的ノモノデハナイトシタイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマスノハ、其會ノ成立チノ特殊デアルト

○塚本委員 ソレカラモウ一ツ恩給金庫ノ事業開始ニ當ッテ大事ナコトハ、又此恩給金融機關デハ取扱ッテ貰フコトノ出來ナカッタ年寄デアルトカ、或ハ病弱者デアルトカ云フヤウナ弱體受給者ガ、幸ニシテ此出來マスル恩給金庫ニ依ッテ、金融ノ途ガ開ケルト云フ所ニ非常ナ特典ガアルト思ヒマス、此特典ハ何處迄モ生カシテ行カナケレバナムスト思ヒマスガ、唯心配スルノハ、資金ニ對シテ五分五厘ノ配當ラシナケレバナラヌトカ、或ハ事業費ガ相當多額ヲ要スルトカ云フヤウナコトカラシテ、相當ヤハリ成績ヲ擧ゲナケレバナラスト云フコトノ爲ニ、恩給ヲ擔保トシテ融通シテ居リマスル貸付金ハ、全部恩給金庫ニ肩替リサセルノダト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、ソレハ恩給金庫ノ事業開始ト共ニ、直ニサウ云フコト私語致シマシタ場合ニ、是等ノ年金或ハトシタイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス。

○塚本委員 モウ一ツ帝國軍人後援會及ビトシタイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス。○高木政府委員 御說ノ通リデコザイマシテ、此金庫ノ出來マス一ツノ大キナ眼目ト致シマシテ、從來救ハレテ居ラナイ老年者、弱體者等ニ對スル貸付ガ非常ニ重要ナコトダト考ヘマスノデ、其點ニ付キマシテハ十分考慮致シマシテ、御話ノヤウナ虞ノナイヤウニ致シタイト考ヘマス。

○塚本委員 次ニ、今日相當多ク、法律ガ禁止シテ居ルニモ拘ラズ恩給證書、年金證書ヲ擔保ニシテ金ヲ借リテ居リマスル者ガアルトハ、モウは周知ノ事實デアリマスガ、是ガ法律上公然ト認メラレテ、而モ此半官半民ノ恩給金庫ト云フヤウナモノガ設置サレマシタナラバ、恩給證書或ハ年金證

書ヲ利用致シマシテ、金融ヲ請フ者ハ、從來ニ増シテ非常ニ多クナツテ來ルト思ヒマスガ、其邊ノ見透シハ如何デアリマスカ
○高木政府委員 私共モ大體サウ云フ風ニ考ヘルノデゴザイマシテ、金庫ガ完全ニ圓滿ニ發達シテ來マスクトニナリマスレバ、比較的利用者ハ多クナルダラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ其點ハ先程小高サンカラ御答致シマシタヤウニ、此金庫ガ出來マシタ爲ニ、金庫ヲ利用シテ借金ヲシテ濫費浪費ニ陥ルト云フヤウナコトノアリマセヌヤウニ、貸付ニ當リマシテハ十分注意ヲ致ス積リデ居リマスノデ、一時ニサウ急激ノ増加ガアルト云フ風ニモ考ヘラレナイノデアリマス、唯漸時受給者モ殖エテ參リマスシ、又金庫ガ比較的簡易低利ニ金融スルト云フコトニナリマスレバ、利用者ハ漸時殖エテ參ルコトト考ヘマス、ソレニ對應スルダケノ施設ハ十分政究致サナケレバナラナイト考ヘマス

特殊ノ機關ガ出來マスナラバ、是ノ利用者ト云フモノハ相當急激ニ殖エテ參ルト思ヒマス、ソレデコソ又之ヲ設立シタ價値ガ現ハレテ來ルノダト思フノデス、サウ云フ風ニ利用者ガ殖エテ來ルト云フコト、更ニ今局長ノ御詫ニモアリマシタヤウニ、支那事變ノ爲ニ受給者ガ急激ニ増加シテ居リマセウシ、更ニ又官廳方面ニ於キマシテモ、省ガ殖エタリ、或ハ部局ガ新設セラレタリ、或ハ擴張セラレタリ致シマシテ、此恩給ヲ受クル人ノ數ガ年々相當急激ニ増加ヲ示シテ參ルヤウナ風ニ私ハ見テ居リマス、サウ云フ各事情カラ致シマシテ、益恩給金庫ノ利用者ガ殖エテ來ルト思ヒマス、ソコデ私ノ心配致シマスノハ、政府提出ノ參考資料ニモアリマスヤウニ、借替ガ十分ニ圓滑ニ出來ルカドウカト云フ問題デゴザイマス、是ハ又非常ナ重大ナ問題デアリマシテ、現ニ此市井ニアリマスル惡辣ナル高利貸等ニ寄メラレテ居リマスル多クノ受給者ヲ救ヒ出サナケレバナラヌ使命ヲ持ツテ居ルノデアリマス、所ガサウ云フ風ニ一方ニハ利用者ガドン／＼殖エテ來ル、ソレカラ一 方ニハ今貸出シテ居リマスモノヲ肩替リサセナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ見マスト、政府ノ提出セラレマシタ資料ニ依リマ

シテモ、大體代理受領者ノ受取リマス金額ガ二千五百万圓トナツテ居リマス、而モ其備考欄ニ於キマシテハ、想像スルノニ實際ニ於テハ此二倍ニモ達シテ居ルノデハナカラウカト云フコトヲ掲ゲテ居リマス、二倍トシマスト五千万圓、ソレニ支那事變ノ影響其他ニ依リマシテ受給者ガ殖エテ參リマス、更ニ恩給金庫ノ設置ニ依リマシテ利用者ガ一層殖エテ來ルト云フコトヲ想像シマスト、大體當初一億圓位ノ金ヲ持ッテ掛ラナケレバ、十分ニ此機關ヲ利用シマスル人々ノ希望ヲ達スルコトハ困難デハナカラウカト思ヒマス、而モ今ノ事業計畫ニ依リマスト、之ヲ完全ニ借替サシテシマヒマス爲ニハ、此計畫カラ言ヒマスナラバヤハリ二年、三年ノ歲月ヲ要スルト思ヒマス、サウシマスナラバ、其間何カ經過的ノ方法ヲ御考ニナッテ居リマスカ、此事業計畫デサウ心配シタコトハナイト考ヘテ居ラレルト私ハ思フノデスケレドモ、私共ノ考ヘル所デハサウ云フ風ニ現在ニ於テスラ約五千万圓ノ金ガナケレバ肩替リヲサシテヤレナイ、而モ此新シイ金庫ノ設置ニ依ヅテ利用ノ希望者ガ殖エテ來ル、ソレ等ノ多クノ希望ヲ達スル爲ニ目的ヲ達セラレナイ、他ノ委員カラモ御

質問ガアツタノデアリマスガ、私ハ別ニサウ
云フ別個ノ方面カラ考へマシテ、ドウモ肩
替リガ十分ニ出來ナイノデハナイカ、十分
ニ此金庫利用者ノ希望ヲ容レルコトガ出來
ナイノデハナイカト云フ心配ガアリマス、
ソレガ早ク行ハレナケレバ、依然トシテ好マ
シカラザル事柄ガ續ケラレテ行クノデヤナ
イカ、更ニモウ一つ私ガ心配スルノヘ、曩
ニ質問シマシタ帝國軍人後援會、或ハ義濟
會ト云フモノガ、先ヅ第一番ニ容易ニ肩替
リガ出來ルカラ肩替リヲサスト云フヤウナ
方針デアルトシマスト、私ハ先ヅ第一番ニ
救ウテヤラナケレバナラヌ市井ノ恩給金融
業者ニ寄メラレテ居ル人々救フト云フ方
面ガ却ツテ後廻シニナルノデハナイカ、ソレ
デハナラヌト思フ、私ハ比較的弊害ノ少イ軍
人後援會デアルトカ、義濟會ノ方ハ後廻シニ
シテモ、一番弊害ノ多イ所カラ先ヅ救濟ノ
手ヲ伸ベテ、改善ノ途ヲ圖ツテヤラナケレ
バナラヌト思フ、サウシマスノニハ非常ニ
資金ガ少イノデアリマスガ、此點ニ關スル
所信ヲ承ツテ置キタインデアリマス

第六類第七號 恩給金庫法案外一件委員會議錄 第九回 昭和十三年三月二日

デハナイカト考ヘテ居リマス、是ハ利率其他ノ條件ガ違ツテ居リマスカラ、債權者ト受給者トノ間ノ或ル程度ノ妥協ヲ要スルコトニナリマスノデ、妥協ノ付イタモノカラ順次處理シテ行クコトニナリマスレバ、ヤハリ技術的ニ相當期間ガ掛ルノデハナイダラウカ、ソレデ當初ノ第一年ノ半年分ノ豫想ト致シマシテハ、四千万圓ノ借入金ト六百万圓ノ資本金ヲ充當致シマスレバ、大體其程度ニシカ行カナイノデハナイカト思フ、此計畫ニ於キマシテハ、實ハソレ迄モ出來ナイデアラウト云フ見込デ、新規貸付金ヲ三千二百万圓ト見テ居ルノデゴザイマスケレドモ、是ハ又少シク餘裕ガ無サ過ギルヤウニモ考ヘルノデス、先日ドナタカラカ御指摘ニナリマシタ資金残高ガ多過ギルデヤナイカト云フ御話モアッタノデスケレドモ、之ヲ満足ニ利用シテ行クコトニナリマスレバ、借入金四千万圓ト六百万圓ノ資金、尙ホ貸付ヲシマスト、直グ其三月目カラ回收金ガ入ツテ來マス、ソレ等ノ金ヲ運用シマシテ、初年度五千万圓位ノモノハ十分消化シ得ルト考ヘテ居リマス、若シソレデ尙ホ不十分デアルト云フコトデアリマスレバ、借入金其他ノ方法ニ依ツテ此計畫外ニ隨時増シテ行ツモ差支ナイト思ヒマス

○塚本委員 サウシマスルト、ヤハリ政府ノ方デハ此乘替其他ハ一時ニ行ハレスデモ宜イト云フ御考デアリ、尙ホ又一般市中ニアリマス所ノ恩給立替業者等ノ方面ト話合ヲ付ケルノニ相當暇ガ要ルト云フ御話デアリマスカラ、ヤハリ是ハ兩三年シナケレバ完全ナモノニハナラヌト云フコトヲ御認メノ上デヤラレルヤウニ思ヒマスガ、サウ考ヘテ置イテ宜イデアリマスカ

○高木政府委員 實際問題トシマシテハ、ヤハリ御話ノヤウニナルコト考ヘマス

○塚本委員 サウシマスト、此恩給法ノ改正ノ方ニ移ルノデアリマスガ、恩給法ノ改正ノ第一番ニアリマスガ、十一條ノ第二項ノ「前項ノ規程ニ違反シタルトキハ裁定官廳ハ支給廳ニ通知シ恩給ノ支給ヲ差止ムヘシ」ト云フノハ、此恩給金庫法ノ事業開始ト共ニ是ハ嚴格ニ行ハレル方針デアリマセウカ、御伺シテ置キタイト

ソレカラ恩給法ノ改正デアリマスガ、戰病死者、傷痍軍人並ニ其遺族ノ待遇改善ニ關シマシテ、此恩給法ノ改正ガ提案セラレマシタコトハ、非常ニ欣快ニ堪ヘナインデアリマスガ、唯此待遇改善ノ内容ニ付キマシテ、尙ホ幾多ノ不十分ナ點ガアルコトハ、多クノ委員諸君カラ御指摘ニナッタ通リデアリマス、私ノ質疑シタイト考ヘテ居リマシタコトモ、既ニ殆ド大部分質疑ガ盡サレハ此規定ニ違反シタナラバ直チニ支給ノ書キ方ニ含蓄ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、ソタノデ、私ハ重ネテ是ハ質疑致シマセス、唯私ハ各委員ノ質疑ヲ聽イテ居リマシテ、最初ノ最上君ノ質疑竝ニ江藤委員ノ質疑ニデ是ハ裁定廳ガ判断ヲ致シテ、裁定廳ガ支給廳ニ通知ヲ致シテ、支給廳ヲシテ差

リマス、此事ダケヲ表明シテ置キマシテ、其點ハ一切質問ヲ省略シマスガ、唯恩給法ノ改正ニ關聯シマシテ、一二伺ツテ置キタイコトヘ、是ハ本會議デモドナタカ質問ニナツテ居リマシタガ、現在恩給ヲ受ケテ居ツテ、他ノ會社デアルトカ、或ハ其他ノ方面ニ相當多額ノ給料ヲ貰ツテ就職シテ居ル者ガアル、斯ウ云フ者ニハ恩給ヲ一時支給ヲ中止シタラドウカト云フ意見ガアッタガ、全ク同トノ間ニ要ラザル磨擦ヲ起スコトハ勿論避ケテ行カナケレバナリマセヌ、ソレヲ避ケトガラーツ出來ルダケ斯ウ云フ方面ニ、一段ノ努力ヲ加ヘラレンコトヲ御願シテ置キタイト

○高木政府委員 此點ニ付キマシテモ、先般御答シタト考ヘテ居リマスガ、現在ノ恩給法ノ規程ニ於キマシテモ或ル程度ノ支給停止ヲ致シテ居リマス、結局其支給停止ノ程度ノ問題ト云フコトニナルト考ヘマスガ、是ハ實ハ昭和八年ニ改正致シマシテ、高額所得者ノ恩給停止ノ規定ガ出來タノデアリマス、之ヲ今日更ニモウ少シ率ヲ増スカドウカト云フコトニナリマスト、尙ホ多少研究ノ餘地ガアルト云フ風ニ考ヘマスノデ、今回ノ恩給法ノ改正ニハ之ヲ出サナカッタノデアリマス、併シ根本ノ問題ト致シマシテハ、尙ホ研究スル餘地ガアルト考ヘテ居リ

○塚本委員 私ハ以下二三恩給法ノ根本的
ナ改正ノコトニ關シテ御伺シタイト思ヒマ
ス、今ノモ其一ツデアリマスガ、更ニモウ
一ツハ、曩ニ恩給局長トモ私語シタ點デア
リマスガ、今日ノ恩給法ヲ根本的ニ改正ス
ル必要ヲ私ハ痛感シテ居ルノデアリマス、
言フ迄モナク今日ノ恩給法ハ、軍人、官吏
ヲ主トシテ恩給ガ與ヘラレルヤウナコトニ
ナツテ居ルノデアリマスガ、ドウモ恩給法ノ
適用ヲ官吏ト軍人トダケニ——其他一二附
隨モノガアリマスガ、主トシテソレダ
ケニ恩給ヲ與ヘテ置クト云フコトガドウカ
ト思フ、私ノ理想ハ七十議會ノ本會議デモ
申上げテ置イタノデアリマスガ、斯ウ云フ
風ナ結局制度ニ改メルコトハ出來ナイカト
宜イモノダト考ヘマス、私ハ啻ニ軍人ヤ官
吏ダケデナク、日本ノ國民全體ニ恩給ナリ
思ヒマス、サウシマシテ此ノ方法ト名前
ハドウ云フコトニナルカ知レマセヌガ、
國民ノ退職賜金ト申シマスカ、國民ノ功勞
賜金ト申シマスカ、サウ云フヤウナモノニ
シテ兎ニ角或ル職場、或ル職務ニ勤メマシ

タ者ニ對シマシテハ、之ニ一時賜金トシテノ
退職賜金或ハ功勞賜金ト云フモノヲ與ヘテ打
切ツシマフ、サウシテ五十歳トシマスカ六十
歳トシマスカ、五十五歳トシマスカ、兎ニ
金トカ云フモノハ支給シナイ、働く能力ア
ル間ハ皆ソレドヽ自活ノ道ヲ立テ行クト
云フ方法ヲ執ラシメテ、最後ニ相當年齡ニ
達シマシタナラバ之ニ國民年金ト申シマス
カ、或ハ養老年金ト言ヒマスカ、サウ云フ
ヤウナ年金ヲ與ヘル制度ニ改メテハドウカ
ト考ヘマシテ、七十議會ニモ之ヲ述べテ置
イタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ根本
的ナ改正ヲ行フト云フコトニ付テ何カ御考
ガアリマスカ、今御考ガナクテモ私ガ申上
ゲマシタヤウナコトニ對シマスル只今ノ御
心持、サウ云フモノモ伺ツテ置キタインデ
アリマス

ソレカラ先程ノ御答辯ニアリマシタ高額
所得者ニ對シテハ恩給ヲ一時停止スルコト
ハ今モ行ハレテ居ルトノ御話デアリマシタ
ガ、高額所得者或ハ富裕ナ生活ヲシテ居ル
者、或ハ又年ノ若イ者、サウ云フ者ニ對シ
トハ逃モ出來ナイト思ヒマス、ソレカラ
般文官ニ付テハ然ラバドウスルカト云フ
問題、是ハ退職保険ト云フヤウナ問題ニ付
テ考ヘテ見ル途ハアルト思ヒマス、目下考
ヘテ居ルノデアリマセヌケレドモ、是ハ
官吏ト同ジヤウニ國家ノ爲ニ或ハ地方ノ公
共ノ仕事ヲヤツテ居リマスル市町村吏員ノ
恩給ニ關スル問題、是ナドモ隨分氣ノ毒ナ
法モ考ヘラレルノデハナイカト思ヒマスノ
デ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○船田政府委員 塚本君ノ前段ノ御質問ハ
先般本議場ニ於テモ申上げマシタヤウニ、
恩給法自體ノ問題ト致シマシテハ目下ノ所サ
十歳トシマスカ、五十五歳トシマスカ、兎ニ
角或ル一定ノ年齢ガ來ルマデハ恩給トカ年
齡トシマスカ、五十五歳トシマスカ、兎ニ
金トカ云フモノハ支給シナイ、働く能力ア
ル間ハ皆ソレドヽ自活ノ道ヲ立テ行クト
云フ方法ヲ執ラシメテ、最後ニ相當年齡ニ
達シマシタナラバ之ニ國民年金ト申シマス
カ、或ハ養老年金ト言ヒマスカ、サウ云フ
ヤウナ年金ヲ與ヘル制度ニ改メテハドウカ
ト考ヘマシテ、七十議會ニモ之ヲ述べテ置
イタノデアリマス、併シ同ジ官吏ノ中ニ於キマシ
テモ相當考究スベキ點ニハ達シテ居ルノ
ヤウナ年金ヲ與ヘル制度ニ改メテハドウカ
ト考ヘマシテ、七十議會ニモ之ヲ述べテ置
イタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ根本
的ナ改正ヲ行フト云フコトニ付テ何カ御考
ガアリマスカ、今御考ガナクテモ私ガ申上
ゲマシタヤウナコトニ對シマスル只今ノ御
心持、サウ云フモノモ伺ツテ置キタインデ
アリマス

ソレカラ先程ノ御答辯ニアリマシタ高額
所得者ニ對シテハ恩給ヲ一時停止スルコト
ハ今モ行ハレテ居ルトノ御話デアリマシタ
ガ、高額所得者或ハ富裕ナ生活ヲシテ居ル
者、或ハ又年ノ若イ者、サウ云フ者ニ對シ
トハ逃モ出來ナイト思ヒマス、ソレカラ
般文官ニ付テハ然ラバドウスルカト云フ
問題、是ハ退職保険ト云フヤウナ問題ニ付
テ考ヘテ見ル途ハアルト思ヒマス、目下考
ヘテ居ルノデアリマセヌケレドモ、是ハ
官吏ト同ジヤウニ國家ノ爲ニ或ハ地方ノ公
共ノ仕事ヲヤツテ居リマスル市町村吏員ノ
恩給ニ關スル問題、是ナドモ隨分氣ノ毒ナ
法モ考ヘラレルノデハナイカト思ヒマスノ
デ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ヤウナ立場ニアリマスル者ニ付テハ一般的
ニ退職保險ト云フヤウナモノモ考ヘテ見ル
必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、ソレ
カラ養老年金ト云フヤウナ問題ハ、是ハ一
般的ノ社會保險ノ一つノ制度トシテ勞働者ニ
或ハ中小商工業者、農民ト云フヤウナ者ニ
付テ全般的ニ社會保險ノ制度トシテ考ヘテ
見ル必要ハアルト思ヒマスガ、ソレ等ノ點
ハ今後主トシテ厚生省ニ於テハ研究シテ行
ク問題ダト考ヘマス、若シ茲ニ保險官營ト
シテモ相當考究スベキ點ニハ達シテ居ルノ
ヤウナ年金ヲ與ヘル制度ニ改メテハドウカ
ト考ヘマシテ、七十議會ニモ之ヲ述べテ置
イタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ根本
的ナ改正ヲ行フト云フコトニ付テ何カ御考
ガアリマスカ、今御考ガナクテモ私ガ申上
ゲマシタヤウナコトニ對シマスル只今ノ御
心持、サウ云フモノモ伺ツテ置キタインデ
アリマス

ソレカラ先程ノ御答辯ニアリマシタ高額
所得者ニ對シテハ恩給ヲ一時停止スルコト
ハ今モ行ハレテ居ルトノ御話デアリマシタ
ガ、高額所得者或ハ富裕ナ生活ヲシテ居ル
者、或ハ又年ノ若イ者、サウ云フ者ニ對シ
トハ逃モ出來ナイト思ヒマス、ソレカラ
般文官ニ付テハ然ラバドウスルカト云フ
問題、是ハ退職保険ト云フヤウナ問題ニ付
テ考ヘテ見ル途ハアルト思ヒマス、目下考
ヘテ居ルノデアリマセヌケレドモ、是ハ
官吏ト同ジヤウニ國家ノ爲ニ或ハ地方ノ公
共ノ仕事ヲヤツテ居リマスル市町村吏員ノ
恩給ニ關スル問題、是ナドモ隨分氣ノ毒ナ
法モ考ヘラレルノデハナイカト思ヒマスノ
デ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ト、官吏トシテ相當ナ地位ニ上ツテ居ツタ者ガ民間ノ特殊會社ニ入り、而モ相當多額ノ恩給ヲ受ケナガラ、又一面ニ於テ其會社カラ多額ノ報酬ヲ受ケルト云フヤウナコトガアリマスルノデ、ソレガ大分各方面ノ注目ヲ惹イテ居ルノデアリマス、此問題ハ官吏制度全般ノ改善問題ト同時ニ考ヘテ行クベキモノデハナイカト思ヒマシテ、現ニ政府ニ於キマシテハ文官制度全般ニ付テ目下具體案立案中デアリマス、サウ云フ點モ併セテ考究ヲ致シテ居リマス

○塚本委員 陸軍政務次官ノ方デ早ク質問シテ吳レト云フ要求ガアリマスノデ、直グ其方ニ移リタイト思ヒマスガ、今官吏トシテノ法制局長官カラノ御話ヲ伺ヒマシタガ、此點ニ對シテ軍部ノ意見ハドウデアリマセウカ、今ノヤウナ軍人ヲ特別ニ取扱フ恩給法ヲ嚴トシテ置カケレバイケナイト云フ御考デアリマスカ、相當ナ根本的ナ改革ヲ考ヘル必要ガアルト御考ニナリマスカ、更ニ又私ガ今申シマシタヤウナ、假ニ或ハ退職賜金ト申シマスカ、功勞賜金ト云フモノヲ一方ニ與ヘテ、サウシテ或一定ノ年齢ニ達シテカラ年金ヲ與ヘルト云フヤウナ制度——勿論是ハ遺族ノ年金ニ付テハ別デアリマス、ソレハ別ニ與ヘナケレバ

ガ民間ノ特殊會社ニ入り、而モ相當多額ノ恩給ヲ受ケナガラ、又一面ニ於テ其會社カラ多額ノ報酬ヲ受ケルト云フヤウナコトガアリマスルノデ、ソレガ大分各方面ノ注目ヲ惹イテ居ルノデアリマス、此問題ハ官吏制度全般ノ改善問題ト同時ニ考ヘテ行クベキモノデハナイカト思ヒマシテ、現ニ政府ニ於キマシテハ文官制度全般ニ付テ目下具體案立案中デアリマス、サウ云フ點モ併セテ考究ヲ致シテ居リマス

○加藤政府委員 一般官吏制度ニ關シテハ、只今法制局長官ガ申述ベラタ通リノ方針デアラウト存ジマス、軍ノ方ト致シマシテハ、制度ニ關シマシテハ、申ス迄モゴザイマセヌガ、一般統帥ニ關スル問題デゴザイマスルノデ、此處デ私ガ身分上ノ變更若クハ其待遇ナドニ付テ申述ベル自由ヲ有シナイノデアリマス、軍人ハ上元帥ヨリ下兵ニ至ル迄、日本ノ特殊ノ建軍ノ本旨ガゴザイ

○塚本委員 次ニ御伺シタインハ、現行恩給法ノ適用ヲ受ケテ居リマセヌ所ノ軍屬ノ軍屬ニ對シマシテ、殊ニ今度ノ支那事變ニ關シマシテ、之ニ從事シテ居リマス所ノ軍屬ニ對シマスル待遇ノ優遇ノ方法ヲ何カ御考ニナッテ居リマスカ、御伺シテ置キタイト思ヒマス

○加藤政府委員 塚本君ノ御質問ハ軍屬ニ戰死ヲシタ人ト云フ意味デゴザイマスルイマスルガ、軍屬ハ所謂陸軍文官トシテノ規定ノ下ニ恩給年限ニ達スレバソレノ恩給ヲ支給サレテ居リマス、又戰死ヲシタ場合ニ於ケル取扱ハ、軍屬トシテノ一時賜金ノ詮議モアルノデアリマス、同時ニ靖國神社合祀ノ儀ヲ仰セ出サレルコトモアルト存地ナシ、斯ウ御考ニナッテ居ルノデアリマス

ナラスト思ヒマスガ、サウデナイ男子ニシテ壯健ナ者ニ對シマシテハ、サウ云フヤウナ改正ヲ行フト云フコトニナリマスルト、軍ノ方デハソレヲドウ御考ニナリマスカ、軍人ノ心理上ニドウ云フ影響ヲ齎スト御考ニナリマスカ、一般ノ國民ニドウ云フ影響ヲ與ヘマスカ、御感想ヲ承リタイト思ヒマス

○塚本委員 次ニ御伺シタインハ、現行恩給法ノ適用ヲ受ケテ居リマセヌ所ノ軍屬ノ待遇ニ關スル問題デアリマスガ、之ニ付キセヌ

○塚本委員 今ノ御話ニ關聯シマシテ、軍屬ハ軍屬トシテ取扱ヲ受ケルノデアリマスガ、軍屬ニアラザル者ニ付テモ考ヘテヤル必要ガアルノデナイカト思ヒマス、例ヘバ陸軍ニ於キマシテモ海軍ニ於キマシテモ、澤山ナ運送船ナンカヲ公用船トシテ軍ノ方デ指名セラレマシテ、ソレノ任務ニ就カシメラレテ居ルノデアリマスガ、之ニ從事シテ居ル者ガ偶、戰ノ場合ニ死ニシマシタ場合ニハ、詰リ戰死ヲシマシタ場合ニハ軍屬トシテノ取扱ヲ受ケルノデアリマスガ、戰死ヲシナイ者ハ軍屬ノ取扱ヲ受ケナイデ居ルノデアリマスガ、是等ニ付テモ何カ特殊ニ今度御考ニナッタコトガアリマスカ、ソレハ唯船ノ場合デ申シマスト、或ル船會社トノ雇傭契約ニ依ツテ働イテ居ルシダ、ソレハ軍

ラレルコトガアリマスル場合ニハ、是ハ研究事項トシテ取扱ハルベキモノト存ジマスニツノ意味デゴザイマシタラ、文官タル資格ノアル軍屬ハ恩給ガ支給ニナリマスガ、サウデナイ者ハ、例ヘバ是ハ例ヲ以テ申上ゲルノデアリマスルガ、從軍ヲ致シマシタル新聞記者デアルトカ、サウ云フ人ガアリマスルナラバ、ソレバ戰死ヲ致シマス場合ニハ軍屬トシテ取扱ヲ致シマス

○塚本委員 今ノ御話ニ關聯シマシテ、軍屬ハ軍屬トシテ取扱ヲ受ケルノデアリマスガ、軍屬ニアラザル者ニ付テモ考ヘテヤル必要ガアルノデナイカト思ヒマス、例ヘバ陸軍ニ於キマシテモ海軍ニ於キマシテモ、澤山ナ運送船ナンカヲ公用船トシテ軍ノ方デ指名セラレマシテ、ソレノ任務ニ就カシメラレテ居ルノデアリマスガ、之ニ從事シテ居ル者ガ偶、戰ノ場合ニ死ニシマシタ場合ニハ、詰リ戰死ヲシマシタ場合ニハ軍屬トシテノ取扱ヲ受ケルノデアリマスガ、戰死ヲシナイ者ハ軍屬ノ取扱ヲ受ケナイデ居ルノデアリマスガ、是等ニ付テモ何カ特殊ニ今度御考ニナッタコトガアリマスカ、ソレハ唯船ノ場合デ申シマスト、或ル船會社トノ雇傭契約ニ依ツテ働イテ居ルシダ、ソレハ軍

○塚本委員 其他戰死シナイ者デアリマスルガ、軍屬ハ所謂陸軍文官トシテノ規定ノ下ニ恩給年限ニ達スレバソレノ恩給ヲ支給サレテ居リマス、又戰死ヲシタ場合ニ於ケル取扱ハ、軍屬トシテノ一時賜金ノ詮議モアルノデアリマス、同時ニ靖國神社合祀ノ儀ヲ仰セ出サレルコトモアルト存地ナシ、斯ウ御考ニナッテ居ルノデアリマス

○塚本委員 其他戰死シナイ者デアリマスルガ、軍屬ハ所謂陸軍文官トシテノ規定ノ下ニ恩給年限ニ達スレバソレノ恩給ヲ支給サレテ居リマス、又戰死ヲシタ場合ニ於ケル取扱ハ、軍屬トシテノ一時賜金ノ詮議モアルノデアリマス、同時ニ靖國神社合祀ノ儀ヲ仰セ出サレルコトモアルト存地ナシ、斯ウ御考ニナッテ居ルノデアリマス

カ、何トカ是等ノコトニ付テモ考ヘテヤラ
ナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス
カ、御伺致シマス

○加藤政府委員 只今ノ御質問ノ軍屬ト云
フノハ、サウ云フ場合ノハ軍夫ト申シテ居
リマス、傭船ノ場合ニ於ケル汽船會社ト其
乗組員トノ雇傭契約ト云フ御話ガアリマシ
タガ、ソレハ其通リデアリマス、併シ今徵
用サレル場合ガアリマスガ、ソレハサウ云
フ場合ニ於キマシテハ、戰死ヲ致シマスル
ト大抵軍屬ノ取扱ヲ受ケテ居リマス、戰死
ヲシナイ場合ハ物質的ニ特ニ日給ヲ加算致
ストカ、サウ云フ便宜ノ方法ヲ執リマスガ、
ドレダケノ定額ノモノヲ與ヘルト云フコト
ハ只今申上ゲル迄ニナシテ居リマセヌ、現地
ニ於キマシテ戰死ヲ致シマシタヤウナ軍夫
ハ、ヤハリ軍屬トシテ野戰部隊ニ於テ取扱ッ
テ居リマス、併シサウデナイ人モ假ニアリ
得マシタラ、多額ノ日當ヲ一時ニ與ヘマス
トカ、サウ云フ物質上ノ優遇ハ與ヘテ居ル
ノデアリマス、戰死デアリマスレバ勿論靖
國神社合祀ヲ仰出サレルコトモアラウト思
ヒマス

○塚本委員 私ハ其次ニ御伺シタイノハ、
從軍記章ト云フモノハドノ範圍ニ御渡シニ

ナツテ居ルノカ知レマセヌガ、出來ルコトナ
ラ、此從軍記章ハモウ少シ廣イ範圍ニ御渡
シ願ヘレバ結構ダト思フノデアリマス、例
火夫長ナドニハ從軍記章ガ渡ルヤウデアリ
マスガ、其他ノ一般船員ハ、同ジ船ニ乗ッテ
居リナガラ、其頭デアル水夫長、火夫長ニ
ハ渡ルケレドモ、ソレ以外ニハ渡ラヌ、或
ハ是ハドウカ知レマセヌガ、私共日獨戰爭
ノ場合ニ舞鶴ノ海軍工廠ニ居リマシテ相當
多額ノ金ヲ後デ戴イタ譯デアリマスガ、此
場合ニ於テモ或ル上級ノ人々ハ何カ從軍記
章ノヤウナモノヲ貴ツタカ云フ話モ聞イ
シマスルトカ、一時ニ多クノ手當ヲ與ヘマ
ストカ、サウ云フ便宜ノ方法ヲ執リマスガ、
ドラウト考ヘマス、之ヲ何處マデ廣クスル
カト云フコトハ問題デアリマスケレドモ、
今ノ船ノヤウナモノナラ、本當ニ同ジ船ノ
中ニアツテ一緒ニ同ジヤウニ働イタ者ガ、水
夫長、火夫長ダカラ從軍記章ガ貴ヘル、サ
ウデナイソレ以下ノ者ハ貴ヘナカッタト云
フコトデハドウカト考ヘマス、モウ少シ此
現行法第一二十四條ノ中ノ各項症別ニ色々
障礙ノ程度ガ列舉シテアリマスガ、若シ兩
眼ガ全ク失明シテシマッタ云フヤウナ場
合デアリマスナラバ、是ハ特別項症ニナル
ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○加藤政府委員 塚本サンノ御話ニナリマ
シタ日露戰爭當時ノ範圍ト滿洲事變以來ノ
範圍トデハ、大變廣ガッテ居リマシテ、今ハ

成ベク多ク賜ハルコトニ詮議相成ッテ居リ
マス、ソレハ御承知ノ通リニ其人ノ身分ト
シ願ヘレバ結構ダト思フノデアリマス、例
火夫長ナドニハ從軍記章ガ渡ルヤウデアリ
マスガ、其他ノ一般船員ハ、同ジ船ニ乘ッテ
居リナガラ、其頭デアル水夫長、火夫長ニ
ハ渡ルケレドモ、ソレ以外ニハ渡ラヌ、或
ハ是ハドウカ知レマセヌガ、私共日獨戰爭
ノ場合ニ舞鶴ノ海軍工廠ニ居リマシテ相當
多額ノ金ヲ後デ戴イタ譯デアリマスガ、此
場合ニ於テモ或ル上級ノ人々ハ何カ從軍記
章ノヤウナモノヲ貴ツタカ云フ話モ聞イ
シタイト云フ氣持ヲ持ッテ居リマス
溢賞ニ流レズ、而モ之ニ漏レナイヤウニ致
シマスルトカ、一時ニ多クノ手當ヲ與ヘマ
ストカ、サウ云フ便宜ノ方法ヲ執リマスガ、
ドラウト考ヘマス、之ヲ何處マデ廣クスル
カト云フコトハ問題デアリマスケレドモ、
今ノ船ノヤウナモノナラ、本當ニ同ジ船ノ
中ニアツテ一緒ニ同ジヤウニ働イタ者ガ、水
夫長、火夫長ダカラ從軍記章ガ貴ヘル、サ
ウデナイソレ以下ノ者ハ貴ヘナカッタト云
フコトデハドウカト考ヘマス、モウ少シ此
現行法第一二十四條ノ中ノ各項症別ニ色々
障礙ノ程度ガ列舉シテアリマスガ、若シ兩
眼ガ全ク失明シテシマッタ云フヤウナ場
合デアリマスナラバ、是ハ特別項症ニナル
ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○高木政府委員 其點ハ昨日江藤委員ニ御
答致シタノト同一デヤナイカト考ヘルノデ

アリマスガ、實ハ恩給法ノ施行令第一十四
條ノ第一項症制定當時ニ於キマシテハ、專
門家ノ意見ト致シマシテ、「兩眼ノ視力ガ視
標○・一〇・五メートル以上ニテハ辨別シ
得サルモノ」ト云フノハ、全盲ニ當ルト云
ラレマセヌケレドモ、是ハヤハリ從軍記章
依ルノデアリマスルカラ、抽象的ニ申上ゲ
シ願ヘレバ結構ダト思フノデアリマス、例
火夫長ナドニハ從軍記章ガ渡ルヤウデアリ
マスガ、其他ノ一般船員ハ、同ジ船ニ乘ッテ
居リナガラ、其頭デアル水夫長、火夫長ニ
ハ渡ルケレドモ、ソレ以外ニハ渡ラヌ、或
ハ是ハドウカ知レマセヌガ、私共日獨戰爭
ノ場合ニ舞鶴ノ海軍工廠ニ居リマシテ相當
多額ノ金ヲ後デ戴イタ譯デアリマスガ、此
場合ニ於テモ或ル上級ノ人々ハ何カ從軍記
章ノヤウナモノヲ貴ツタカ云フ話モ聞イ
シマスルトカ、一時ニ多クノ手當ヲ與ヘマ
ストカ、サウ云フ便宜ノ方法ヲ執リマスガ、
ドラウト考ヘマス、之ヲ何處マデ廣クスル
カト云フコトハ問題デアリマスケレドモ、
今ノ船ノヤウナモノナラ、本當ニ同ジ船ノ
中ニアツテ一緒ニ同ジヤウニ働イタ者ガ、水
夫長、火夫長ダカラ從軍記章ガ貴ヘル、サ
ウデナイソレ以下ノ者ハ貴ヘナカッタト云
フコトデハドウカト考ヘマス、モウ少シ此
現行法第一二十四條ノ中ノ各項症別ニ色々
障礙ノ程度ガ列舉シテアリマスガ、若シ兩
眼ガ全ク失明シテシマッタ云フヤウナ場
合デアリマスナラバ、是ハ特別項症ニナル
ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○塚本委員 私ハ其次ニ御伺シタイノハ、
從軍記章ト云フモノハドノ範圍ニ御渡シニ

シテ上京シマシタコトガ原因トナリマシテ、急性中耳炎ヲ患ヒマシテ、兩耳トモ日本醫院シテ出テ來タノデアリマスガ、其時ハ私全ク兩耳トモ何ヲモ聽クコトノ出來ナイ、全クノ金聾ニナツテシマッタ、漸ク今年ノ一月ノ十日頃カラ耳許ニロヲ當テテ大聲ヲ發シテ貴ヘバソレガ微ニ聽エル程度ニナリマシタ、約二週間程ト云フモノハ全ク金聾デアツタノデアリマシテ、私自身トシマシテハ得難イ經驗ヲシタト思フノデスガ、非常ナ苦痛デアツタコトハ言フ迄モアリマセヌ、ソレカラ色々ナ話ヲ各方面デ聞イテ居リマスルト、全ク眼ガ見エナイノト全ク耳ガ聽エナイノトハドチラガ苦痛ナノカト云フコトニ付テ色々ト多クノ人々ノ話ヲ聞イテ居リマシタ所ガ、ソレハ眼ガ見エナイヨリモ耳ガ聽エナイ方ガ苦痛ナンデアルト云フコトヲ聽カサレタノデアリマス、大阪ニ於キマスル盲聾啞學校デ、ソレ等ノ不幸ナル人々教育ニ專念シテ居リマス人カラモ、サウ云フ話ガアツタサウデアリマスガ、全ク眼ノ見エナイ者ト全ク耳ノ聽エナイ同一人ニ就テ、ドチラヲ早ク治シテ欲シイト考ヘルカ、斯ウ質問スレバ、早ク耳ヲ治シテ貴ヒタイ、耳ガ聽エルヤウニナリタイト思フ、眼ハ見エ

ナクッテモ「ラヂオ」ヲ聽キ、或ハ色々ノ音樂シテ貴ヘバソレガ微ニ聽エル程度ニナリマシタ、約二週間程ト云フモノハ全ク金聾デス、私ハ前ニ聖女「ヘレン・ケラー」ガ日本へ來マシタ時ニモ、大阪デ面會シマシタガ、其時ニモ、サウ云フコトヲ私經驗シヨウトハ思ツテ居リマシタガ、唯最後ニ於キマシテ、マダ私ニ分リ兼ネテ居ル點ヲ簡單ニ一ツ御尋致シタイト思フノデアリマス。

○前田委員長 小笠原君ヨリ塚本君ノ質問ヲコトヲ要求スルサウデアリマス、眼ヨリハ耳ノ方ガ人生ニ取ツテハ辛イト云フコトヲ言タクト云フコトヲ私ハ聽カサレタノデス、私ハ前ニ聖女「ヘレン・ケラー」ガ日本へ來マシタ時ニモ、大阪デ面會シマシタガ、其時ニモ、サウ云フコトヲ私經驗シヨウトハ思ツテ居リマシタガ、唯最後ニ於キマシテ、マダ私ニ分リ兼ネテ居ル點ヲ簡單ニ一ツ御尋致シタイト思フノデアリマス。

○小笠原委員 先輩諸彦ノ詳シ御質疑ガアリマスノデ、私ハモウ質問ヲ止メヨウト思ツテ居リマシタガ、唯最後ニ於キマシテ、前ニ各位ヨリ御質疑ヲ爲サレタ點ノ中デ、マダ私ニ分リ兼ネテ居ル點ヲ簡單ニ一ツ御尋致シタイト思フノデアリマス。

○前田委員長 ○前田委員長 小笠原君ヨリ塚本君ノ質問ヲコトヲ要求スルサウデアリマス、眼ヨリハ耳ノ方ガ人生ニ取ツテハ辛イト云フコトヲ言タクト云フコトヲ私ハ聽カサレタノデス、私ハ前ニ聖女「ヘレン・ケラー」ガ日本へ來マシタ時ニモ、大阪デ面會シマシタガ、其時ニモ、サウ云フコトヲ私經驗シヨウトハ思ツテ居リマシタガ、唯最後ニ於キマシテ、マダ私ニ分リ兼ネテ居ル點ヲ簡單ニ一ツ御尋致シタイト思フノデアリマス。

○小笠原委員 先輩諸彦ノ詳シ御質疑ガアリマスノデ、私ハモウ質問ヲ止メヨウト思ツテ居リマシタガ、唯最後ニ於キマシテ、マダ私ニ分リ兼ネテ居ル點ヲ簡單ニ一ツ御尋致シタイト思フノデアリマス。

○高木政府委員 農村ノ問題ニ付キマシテ、多少私ノ申上ゲタコトガ不十分デアツカト考ヘルノデアリマスケレドモ、今回ノ金庫考ヘルノデアリマスケレドモ、今後ノ金庫ハ農村ヲ全然無視シテ居ルト云フ考デハナインデアリマシテ、出來得ル限リ廣く取扱機関ヲ擴充スルコトガ必要ダト云フ意味ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯既設ノ金融機關ト云ヒマスカ、一般市井ノモノヲ考ヘマスト、取扱ニ於テハ農村ヨリモ都會地ニ集中シテ居ルモノガ多イト云フコトヲ申上げタニ過ギナイノデアリマス、ソコデ地方ニドウ云フ取扱機關ヲ以テヤラシマルカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ研究ノ餘地ガ

○高木政府委員 農村ノ問題ニ付キマシテ、多少私ノ申上ゲタコトガ不十分デアツカト考ヘルノデアリマスケレドモ、今回ノ金庫考ヘルノデアリマス、唯既設ノ金融機關ト云ヒマスカ、一般市井ノモノヲ考ヘマスト、取扱ニ於テハ農村ヨリモ都會地ニ集中シテ居ルモノガ多イト云フコトヲ申上げタニ過ギナイノデアリマス、ソコデ地方ニドウ云フ取扱機關ヲ以テヤラシマルカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ研究ノ餘地ガ

十分アルト考ヘテ居リマス、産業組合等ガ
或ル程度ニ行ツテ居ルコトモ私共承知致シテ
居リマスシ、又ソレ等ノ機關ヲ絶対ニ利用
シナイト云フ積リデモナインデアリマス、
出來得ル限リ斯ウ云フ既設ノ機關ヲ或ル程
度ニ利用シテ行キタイ、併シソレヲ金庫ノ
代行機關ト云フコトニシテ總テヲ委シテシ
マフト云フ意味テハナクシテ、金庫ノ代理
店、取扱機關トシテソレ等ノ機關ヲ利用シ
テ行キタイ、ソレニ依ツテ地方ニ於ケル恩給
擔保金融ノ需要ニ應ゼシメタイト云フ風ニ
考ヘテ居リマス

○小笠原委員 ドウモ色々委員會ガ澤山ア
ニドウ申シテ宜イカ分ラヌ、廣ク金融ノ途
ヲ擴充スルト云フコトハ結構ナコトデアリ
マス、サレバトテ其信用組合ニドウスルカ
ト云フコトハ將來十分研究スルト云フ程度
シテ來タト言ハレタ場合ニ、地方ノ方ノ金
融ハ斯ウ云フ風ニナッタト云フコトヲ吾々ガ
ナタ方ガ決定シタコトヲ待ツテ居ルノデヘ、
吾々ハ田舎ノ方へ行ツテ聽カレテモ答辯ニ困
ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サ
ウナルト議會ト云フモノハ大難把ナモノヲ
決メテ、アトハ政府ニ一任シテシマッテ、サ
ウシテ決定シテシマフコトニナルノデアリ
マス、此點ヲ吾々ハ困ツテ居ルノデアリマス
尙ホ都會地ニ金融利用者ガ多イ、斯ウ云フ
コトヲ申サレマスガ、是ハ都會ハ人口モ多
イシ、需要者モ多イノデアリマスカラ、ソ
レハソレニ相違ナイノデアリマスガ、從來
金融ヲ受ケテ居ル農村、漁村等ノ者ハ、金
融機關ガナイ爲ニ、態々仙臺ナリ或ハ東京
ナリト云フヤウニ、東北ノ方デモ大都市ノ
方ニ其金融ヲ求メル爲ニ多額ノ費用ヲ掛け
テヤル、或ハ地方ノ「プローカー」ノ手ニ依ツ
テ是等ヲ廻サレルノデアリマス、或ハ又金
ヲ借リル關係デ、東京ノ方ガ便利ダト云フ
ノデ、東京ニ寄留シテ東京ノ者ニナッテ利用
スル者ガ多イト云フ譯デアリマス、都市ノ
方ガ益々利用者ガ多イト云フコトヲ言ツテ居
シマシテ屢々問題ニナッテ居タノデアリマス
ガ、元來ハ年金ヲ擔保トシテ金ヲ貸スト云
フコトハ望マシイコトデハナイト思ヒマス、
モノデナクシテ、已ムヲ得ザル場合ニ之ヲ
貸スト云フ趣旨ナノデアリマスカラ、其點
ハ御心配ニナル程ノコトハナイノデハナイ
カト思ヒマス、十分出來ルダケ地方機關ノ
擴充ハ圖リマスガ、尙ホ足ラザル所ハ通信
等ノ方法ヲ以テ行ツテモ、ソレガ爲ニ著シ
不便ヲ感ズルト云フコトハ恐ラクナカラウ

○高木政府委員 地方デ信用組合ノ貸付ケ
テ居リマス額ハ大體分ツテ居リマス、其額ハ
約五百万圓程デアリマシテ、信用組合以外
ノ個人的ニ貸シテ居リマス額ト云フモノハ、
ソレダケハ調查致シタコトハゴザイマセヌ
ウナルト議會ト云フモノハ大難把ナモノヲ
決メテ、アトハ政府ニ一任シテシマッテ、サ
ウシテ決定シテシマフコトニナルノデアリ
マス、此點ヲ吾々ハ困ツテ居ルノデアリマス
尙ホ都會地ニ金融利用者ガ多イ、斯ウ云フ
コトヲ申サレマスガ、是ハ都會ハ人口モ多
イシ、需要者モ多イノデアリマスカラ、ソ
レハソレニ相違ナイノデアリマスガ、從來
金融ヲ受ケテ居ル農村、漁村等ノ者ハ、金
融機關ガナイ爲ニ、態々仙臺ナリ或ハ東京
ナリト云フヤウニ、東北ノ方デモ大都市ノ
方ニ其金融ヲ求メル爲ニ多額ノ費用ヲ掛け
テヤル、或ハ地方ノ「プローカー」ノ手ニ依ツ
テ是等ヲ廻サレルノデアリマス、或ハ又金
ヲ借リル關係デ、東京ノ方ガ便利ダト云フ
ノデ、東京ニ寄留シテ東京ノ者ニナッテ利用
スル者ガ多イト云フ譯デアリマス、都市ノ
方ガ益々利用者ガ多イト云フコトヲ言ツテ居
シマシテ屢々問題ニナッテ居タノデアリマス
ガ、元來ハ年金ヲ擔保トシテ金ヲ貸スト云
フコトハ望マシイコトデハナイト思ヒマス、
モノデナクシテ、已ムヲ得ザル場合ニ之ヲ
貸スト云フ趣旨ナノデアリマスカラ、其點
ハ御心配ニナル程ノコトハナイノデハナイ
カト思ヒマス、十分出來ルダケ地方機關ノ
擴充ハ圖リマスガ、尙ホ足ラザル所ハ通信
等ノ方法ヲ以テ行ツテモ、ソレガ爲ニ著シ
不便ヲ感ズルト云フコトハ恐ラクナカラウ

○高木政府委員 地方デ信用組合ノ貸付ケ
テ居リマス額ハ大體分ツテ居リマス、其額ハ
約五百万圓程デアリマシテ、信用組合以外
ノ個人的ニ貸シテ居リマス額ト云フモノハ、
ソレダケハ調查致シタコトハゴザイマセヌ
ウナルト議會ト云フモノハ大難把ナモノヲ
決メテ、アトハ政府ニ一任シテシマッテ、サ
ウシテ決定シテシマフコトニナルノデアリ
マス、此點ヲ吾々ハ困ツテ居ルノデアリマス
尙ホ都會地ニ金融利用者ガ多イ、斯ウ云フ
コトヲ申サレマスガ、是ハ都會ハ人口モ多
イシ、需要者モ多イノデアリマスカラ、ソ
レハソレニ相違ナイノデアリマスガ、從來
金融ヲ受ケテ居ル農村、漁村等ノ者ハ、金
融機關ガナイ爲ニ、態々仙臺ナリ或ハ東京
ナリト云フヤウニ、東北ノ方デモ大都市ノ
方ニ其金融ヲ求メル爲ニ多額ノ費用ヲ掛け
テヤル、或ハ地方ノ「プローカー」ノ手ニ依ツ
テ是等ヲ廻サレルノデアリマス、或ハ又金
ヲ借リル關係デ、東京ノ方ガ便利ダト云フ
ノデ、東京ニ寄留シテ東京ノ者ニナッテ利用
スル者ガ多イト云フ譯デアリマス、都市ノ
方ガ益々利用者ガ多イト云フコトヲ言ツテ居
シマシテ屢々問題ニナッテ居タノデアリマス
ガ、元來ハ年金ヲ擔保トシテ金ヲ貸スト云
フコトハ望マシイコトデハナイト思ヒマス、
モノデナクシテ、已ムヲ得ザル場合ニ之ヲ
貸スト云フ趣旨ナノデアリマスカラ、其點
ハ御心配ニナル程ノコトハナイノデハナイ
カト思ヒマス、十分出來ルダケ地方機關ノ
擴充ハ圖リマスガ、尙ホ足ラザル所ハ通信
等ノ方法ヲ以テ行ツテモ、ソレガ爲ニ著シ
不便ヲ感ズルト云フコトハ恐ラクナカラウ

ト考ヘテ居リマス、又現ニ地方等ニ於テ行ハレテ居リマスル擔保貸付ノ狀況ヲ見マシテモ、例ヘバ生命保險ヲ附ケルトカ云フヤウナコトガ條件ニナッテ居リマスレバ、ヤハガ掛ルグラウト考ヘラレマス、デアリマスカラ從來ニ比較致シマシテ、非常ニ遅レルト云フコトモ私共ナイト考ヘマスシ、其點ハ運營ノ上ニ十分ノ注意ヲ致シタナラバ、御懸念ノヤウナコトハナイグラウト考ヘマス。

○小笠原委員 ソレハモウ議論ニナルカラ申上ダマセヌケレドモ、ソレハ大變違フノデ、地方機關ニ相當ナ金融機關ヲ代行デナクテモ何カニ依ツテ代ルモノヲ、相當ニ金ノ掛ラヌデモ出來ル範圍内ニ於テ便宜ヲ圖ルト云フコトデアレバ、是ハ別デアリマスケレドモ、唯通信機關ニ依ツテ日子ガ掛ラヌデ云々ト言ウテモ、百姓ヤ町村ノ受給者ノ中ニハナノデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリ色々ナ事ヲシテ却テ非常ナ高利ニナルヤウナコトニ陥ルシ、又急場ヲ要スル時分ニハ、金ガ來ル間ニ相當ナ高利ナモノヲ利用シナクチヤナラスト云フコトニ迫ラレテ來ル

コトハ火ヲ賭ルヨリ明カデアリマスカラ、是ハ餘程アナタ方ノ方デ考ヘ直サヌト、地方ニ對シテ此機關ヲ設ケルトカ擴充スルト云フコトモマダ分リマセヌヤウナ狀態ノカ云フコトヲ申サレマスガ、具體的ニドウスルトカ、是カラ研究デナクスルト云カ云フコトヲ申サルト一番吾々ハ有難イ、ソレガナクテ地方ノ議員ハドノ議員デモ皆御困リグラウト思ツテ居ルノデアリマス、一體政府ノ方ノ施設ヘ、銃後關係ノ事業ニ於テハ、内務省デモ厚生省デモ都市ニ重點ガ置カレテアツテ、洵ニ其實ハ明ニナッテ居リマスガ、出征軍人ノ町村出征ノ數ハ多いニモ拘ラズ閑却サレテ居ルノデアリマスガ、此恩給金庫ノ施設モ信用組合ヲ有機的ニ利用スル必要ハ當然アルト思フノデアリマスルモノ何カニ依ツテ代ルモノヲ、相當ニ金ノ掛ラガ、此點ガモウ少シ具體的ニ、斯ウ云フ風ニスル、ダカラ地方町村モ安心ガ出來ルノダスル、唯通信機關ニ依ツテ日子ガ掛ラヌデ云々ト云フ程度ノコトヲ、明後日アタリ迄ニハシメルカト云フコトヲ只今御答スルコト云マシテ、劃一的ニ如何ナル機關ヲシテ取扱ハ困難ダト思ヒマス、ソレカラモウ一つハ、ナインデス、例ヲ引イテ斯ウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリマスガ、ソレカタ此信用組合ヘ、度位ノ御答ハ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマス、例ヲ引イテ斯ウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリ色々ナ事ヲシテ却テ非常ナ高利ニナルヤウナコトニ陥ルシ、又急場ヲ要スル時分ニハ、金ガ來ル間ニ相當ナ高利ナモノヲ利用シナクチヤナラスト云フコトニ迫ラレテ來ル

○高木政府委員 實ハマダ此法案ハ御審議コトハ火ヲ賭ルヨリ明カデアリマスカラ、是ハ餘程アナタ方ノ方デ考ヘ直サヌト、地方ニ對シテ此機關ヲ設ケルトカ擴充スルト云フコトヲ申サルト一番吾々ハ有難イ、ソレガナクテ地方ノ議員ハドノ議員デモ皆御困リグラウト思ツテ居ルノデアリマス、一體政府ノ方ノ施設ヘ、銃後關係ノ事業ニ於テハ、内務省デモ厚生省デモ都市ニ重點ガ置カレテアツテ、洵ニ其實ハ明ニナッテ居リマスガ、出征軍人ノ町村出征ノ數ハ多いニモ拘ラズ閑却サレテ居ルノデアリマスガ、此恩給金庫ノ施設モ信用組合ヲ有機的ニ利用スル必要ハ當然アルト思フノデアリマスルモノ何カニ依ツテ代ルモノヲ、相當ニ金ノ掛ラガ、此點ガモウ少シ具體的ニ、斯ウ云フ風ニスル、ダカラ地方町村モ安心ガ出來ルノダスル、唯通信機關ニ依ツテ日子ガ掛ラヌデ云々ト云フ程度ノコトヲ、明後日アタリ迄ニハシメルカト云フコトヲ只今御答スルコト云マシテ、劃一的ニ如何ナル機關ヲシテ取扱ハ困難ダト思ヒマス、ソレカラモウ一つハ、ナインデス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリマスガ、ソレカタ此信用組合ヘ、度位ノ御答ハ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリ色々ナ事ヲシテ却テ非常ナ高利ニナルヤウナコトニ陥ルシ、又急場ヲ要スル時分ニハ、金ガ來ル間ニ相當ナ高利ナモノヲ利用シナクチヤナラスト云フコトニ迫ラレテ來ル

○高木政府委員 實ハマダ此法案ハ御審議コトハ火ヲ賭ルヨリ明カデアリマスカラ、是ハ餘程アナタ方ノ方デ考ヘ直サヌト、地方ニ對シテ此機關ヲ設ケルトカ擴充スルト云フコトヲ申サルト一番吾々ハ有難イ、ソレガナクテ地方ノ議員ハドノ議員デモ皆御困リグラウト思ツテ居ルノデアリマス、一體政府ノ方ノ施設ヘ、銃後關係ノ事業ニ於テハ、内務省デモ厚生省デモ都市ニ重點ガ置カレテアツテ、洵ニ其實ハ明ニナッテ居リマスガ、出征軍人ノ町村出征ノ數ハ多いニモ拘ラズ閑却サレテ居ルノデアリマスガ、此恩給金庫ノ施設モ信用組合ヲ有機的ニ利用スル必要ハ當然アルト思フノデアリマスルモノ何カニ依ツテ代ルモノヲ、相當ニ金ノ掛ラガ、此點ガモウ少シ具體的ニ、斯ウ云フ風ニスル、ダカラ地方町村モ安心ガ出來ルノダスル、唯通信機關ニ依ツテ日子ガ掛ラヌデ云々ト云フ程度ノコトヲ、明後日アタリ迄ニハシメルカト云フコトヲ只今御答スルコト云マシテ、劃一的ニ如何ナル機關ヲシテ取扱ハ困難ダト思ヒマス、ソレカラモウ一つハ、ナインデス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリマスガ、ソレカタ此信用組合ヘ、度位ノ御答ハ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリ色々ナ事ヲシテ却テ非常ナ高利ニナルヤウナコトニ陥ルシ、又急場ヲ要スル時分ニハ、金ガ來ル間ニ相當ナ高利ナモノヲ利用シナクチヤナラスト云フコトニ迫ラレテ來ル

○高木政府委員 實ハマダ此法案ハ御審議コトハ火ヲ賭ルヨリ明カデアリマスカラ、是ハ餘程アナタ方ノ方デ考ヘ直サヌト、地方ニ對シテ此機關ヲ設ケルトカ擴充スルト云フコトヲ申サルト一番吾々ハ有難イ、ソレガナクテ地方ノ議員ハドノ議員デモ皆御困リグラウト思ツテ居ルノデアリマス、一體政府ノ方ノ施設ヘ、銃後關係ノ事業ニ於テハ、内務省デモ厚生省デモ都市ニ重點ガ置カレテアツテ、洵ニ其實ハ明ニナッテ居リマスガ、出征軍人ノ町村出征ノ數ハ多いニモ拘ラズ閑却サレテ居ルノデアリマスガ、此恩給金庫ノ施設モ信用組合ヲ有機的ニ利用スル必要ハ當然アルト思フノデアリマスルモノ何カニ依ツテ代ルモノヲ、相當ニ金ノ掛ラガ、此點ガモウ少シ具體的ニ、斯ウ云フ風ニスル、ダカラ地方町村モ安心ガ出來ルノダスル、唯通信機關ニ依ツテ日子ガ掛ラヌデ云々ト云フ程度ノコトヲ、明後日アタリ迄ニハシメルカト云フコトヲ只今御答スルコト云マシテ、劃一的ニ如何ナル機關ヲシテ取扱ハ困難ダト思ヒマス、ソレカラモウ一つハ、ナインデス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリマスガ、ソレカタ此信用組合ヘ、度位ノ御答ハ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリ色々ナ事ヲシテ却テ非常ナ高利ニナルヤウナコトニ陥ルシ、又急場ヲ要スル時分ニハ、金ガ來ル間ニ相當ナ高利ナモノヲ利用シナクチヤナラスト云フコトニ迫ラレテ來ル

○高木政府委員 實ハマダ此法案ハ御審議コトハ火ヲ賭ルヨリ明カデアリマスカラ、是ハ餘程アナタ方ノ方デ考ヘ直サヌト、地方ニ對シテ此機關ヲ設ケルトカ擴充スルト云フコトヲ申サルト一番吾々ハ有難イ、ソレガナクテ地方ノ議員ハドノ議員デモ皆御困リグラウト思ツテ居ルノデアリマス、一體政府ノ方ノ施設ヘ、銃後關係ノ事業ニ於テハ、内務省デモ厚生省デモ都市ニ重點ガ置カレテアツテ、洵ニ其實ハ明ニナッテ居リマスガ、出征軍人ノ町村出征ノ數ハ多いニモ拘ラズ閑却サレテ居ルノデアリマスガ、此恩給金庫ノ施設モ信用組合ヲ有機的ニ利用スル必要ハ當然アルト思フノデアリマスルモノ何カニ依ツテ代ルモノヲ、相當ニ金ノ掛ラガ、此點ガモウ少シ具體的ニ、斯ウ云フ風ニスル、ダカラ地方町村モ安心ガ出來ルノダスル、唯通信機關ニ依ツテ日子ガ掛ラヌデ云々ト云フ程度ノコトヲ、明後日アタリ迄ニハシメルカト云フコトヲ只今御答スルコト云マシテ、劃一的ニ如何ナル機關ヲシテ取扱ハ困難ダト思ヒマス、ソレカラモウ一つハ、ナインデス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリマスガ、ソレカタ此信用組合ヘ、度位ノ御答ハ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマス、例ヲ引イテスウノ云フ譯ダ、ナインデス、隨テ茲ニ「ブローカー」ガ入ッタリ色々ナ事ヲシテ却テ非常ナ高利ニナルヤウナコトニ陥ルシ、又急場ヲ要スル時分ニハ、金ガ來ル間ニ相當ナ高利ナモノヲ利用シナクチヤナラスト云フコトニ迫ラレテ來ル

十万圓カ幾ラカノ金額ニナッテ居ルト云フ
コトヲ伺ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ先
刻ドナタカニ御答ヘニナッタヤウニ、軍人後
援會ノ金融關係ト同様ニ金庫ノ設立ト同時
ニ肩替リヲナルト云フコトニナリマスノ
デスガ、是モ餘程地方的ニハ心配シテ居ル
ノデ、若シ是ガ再交付サレテ回収不能ニ終
ルヤウナコトニナリマスト、立タナイ信用
組合ガ全國ニ多數出來來ル、倒レテシマ
フノガ多數出來テ來ルトスウ云フ重大ナ關
係ガアリマスカラ、其點ニ付テハ肩替リヲ
スルト云フコトガハツキリシテ居ルト云フ
コトニ伺ツテ宜シイデスカ、尙ホ肩替リナ
サルト云フコトニナリマスレバ、其金利關
係モ現在行ツテ居ル金利其他ニ依ツテ其儘肩
替リガ出來ルカドウカト云フコトヲ伺ヒマ
ス

○高木政府委員 其點ニ付キマシテハ、私
ノ考ト致シマシテハ軍人後援會トカ產業組
合等ニ限ラズ、一體政府ノ方針トシテ借倒
シヲ獎勵スルト云フヤウナコトハ毛頭考ヘ
テ居ナイノデアリマシテ、出來得レバ圓滿ニ
解決セシムルコトニ努力スルト云フコトガ
私共當然ダト考ヘテ居リマス、ソレデアリ
マスカラシテ肩替リト申シマスト言葉ノ上
カラ良イカ悪イカ分リマセヌガ、少クモ兩

方ノ話合ガ付キマスレバ、金庫ニ從來ノ債
權ヲ移轉セシムルト云フヤウナコトニ、出
來ル限リ盡力サセルヤウニ努メサセタイト
デスガ、是ハ各個ノ組合ニ依ツテ違フヤウデゴザイ
マスカラ、先程ノ參考資料デ御覽ヲ願ヒマ
シタ通リニ、或ル産業組合ニ於テハ六分以
下デ貸付ヲシテ居ルト云フ所モアリマスシ、
又一割以上デ貸付ヲシテ居ルト云フ所モア
リマスノデ、其儘ノ條件デ引繼フスルカド
ウカト云フコトハ一寸今申上げ兼ネルノデ
ゴザイマスガ、其邊ハ之ヲ實行シテ行キマ
ス上ニ付テ尙ホ十分打合セタイト考ヘテ居
リマス、其點ハ既ニ産業組合中央會幹部ノ
方トモ御會ヒ致シマシテ御話ヲシテアルノ
デゴザイマス、或ル程度ノ諒解ハサレテ居
ルコトト私ハ考ヘテ居リマス

○小笠原委員 サウ致シマスルト、只今ノ
ヤウニ債權債務兩方ニ於テ妥協ガ出來サヘ
スレバトスウ云フコトデアリマスガ、ソレ
ハ軍人後援會ニ限ラズ、信用組合ニ限ラズ、
一般金融業者モ同一ノヤウニ只今御答ニナッ
タノデアリマスガ、併シソレハ表面ノ立前
トシテハサウ云フ御答辯ニナルカ知レナイ
ケレドモ、中々民間ハサウハ參リマセヌ、
シ妥協ガ付カナケレバ再交付ヲスルト云フ
ハ損ヲ掛ケナイデ濟ムダラウケレドモ、併

居ルノデゴザイマスガ、再交付ノ御取扱ナ
ドモサウ云フ所ニ出來テ居ルノデアリマス
ガ、私ノ今御尋シテ居ルノハ、兎ニ角民間
ハ惡質デアラウガアルマイガソレハ切放シ
テ、信用組合ニ止メテ今伺ツテ居ルノデアリ
マスケレドモ、信用組合ノ方ハ信用組合
ノ理事者ト政府ノ方ト折衝シテ、今御答ニ
ナッタヤウナ程度デ、先以テ信用組合ノ方ダ
ケハ金利ハ多少違フノヲ統一シテ、元金ニ
損ヲ掛ケナイデ、幾分高利ニナッタダケノ利
ルト云フコトニ納得セシメルト云フノデア
リマスカ、或ハソコハ半分ニ負ケナケレバ
返サヌトカ、再交付ヲ求メルノダト債務者
ノ方ガ主張スレバ、相手ノ方モヤハリ半分
ニデモ折衝シナケレバナラストカ、ソレデ
ハ再交付スルトカシナイトカ、サウ云フ場
合ハドウナルノデセウカ、ソレハアナタ方
ノ匙加減デ折衝ニナルノデ、ドウシテモア
ナタ方ハ再交付シナイト云フコトニナレバ、
ソレハ信用組合ハ營利デ取扱ツテ居ルモノデ
ナイカラ、其方ハ宜イカラ妥協スル、決シ
テ再交付シナイト云フヤウナ堅イ決心ヲ以
テ折衝シテ戴ケベ、債務者ノ方モ肩替ノ方
対シテモ同様ナコトハ勿論デアリマスカ
○高木政府委員 只今ノ政府ノ御考ハ民間ニ
同様デ宜カラウト思フノデゴザイマス、惡

辣ナ高利貸ダトカ何トカ云フヤウナコトヲ申シマシテモ、ソレハ過去ノ問題デアリマシテ、之ヲ惡辣タカラ踏倒シテヤルガ宜イノダト云フヤウナコトヲ考ヘテハ居ラナイノデアリマス、從來惡辣デアッテモ反省シテ、又受給者ノ方デモ非常ニ惡質ナ奴ガアッタガ、ソレガ反省シテ、双方ノ間ニ話ガ纏マッテ、借替ヲシテ吳レト云フヤウナコトガ成立チマスレバ、十分斡旋スルコトガ、金庫トシテノ仕事ノ上カラ當然ノコトダト考ヘテ居リマス

○小笠原委員 只今ノ御答ハ洵ニ立派デ、私モ其通リデアルモノダト考ヘテ居リマス、然ルニ是マデ再交付シタ事情ヲ能ク業者アタリカラ今日モ聽イテ見マスト、又先刻局長サンガドナタカノ質問ニ對シテ御答ニナリマシタガ、債權者ノ方ハ少シモ調べズニ債務者ノコトノミ調べテ、ソレデ再交付ヲ決定スル、斯ウ云フコトニナリマスト、是ハ果シテ債權者ガ圓滿ナ解決ダト認メルデアリマセウカ、相當ニ債務者ダッテ嘘ヲツクノモアレバ、質ノ惡イノモアル、又アナタ方が債權、債務ト恩給トハ自ラ是ハ別ナモノデアル、又債務者ガ金ヲ借リテ居テ、恩給證書ヲ更ニ再交付サレテモ、自分で返スノダ、斯ウニ對シテ居リマスト、アナタ方ハ債務返済ノ時

ニ決シテ踏倒スコトハナイト御言ヒニナリマスガ、ソレハ奇怪千萬ナコトダト考ヘテ居ル、ナゼナラ恩給證書ヲ再交付シタラ最後、妥協シテ半分ニ負ケルカラ吳レト言ツテモ、イヤ、私ハ生活ニ追ハレテ居ルカラト言ツテ相手ニナラヌ、アナタノ論ハ議論トシテハ立ツカモ知レマセヌガ、實際ノ問題トシテハ行ハレマセヌ、摩擦ハ何時マデモ續ク、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、アナタ方ハ理論バカリ仰シヤラズニ、實際問題モ一ツ研究シテ、民間ノ方ノ再交付ニ對シ能ク兩方ノ意見ヲ聽イテ見テ、妥協セシメルヤウニ斡旋スルト云フノガ本當ノ斡旋デハナイカト思フ、今迄ハ惡質デアッテモ、ソレガ正シクナレバ過去ノコトニ對シテハ追究シナイト云フコトハ立派デアルケレドモ、是マデ執ラレタ所置ハサウデハナイ、是ハ少シ懲ラシメテヤラナケレバ委員會デシタ體面ヲ維持スルト云フコトハ、受給者ガ品性ヲ維持スルト云フ意味ダト私共ハ解釋シテ居リマス、現在ノヤウナ狀態デハ受給者ガ體面ヲ維持スルトカ、品性ヲ維持スルコトガ出來ナイノデアルカラシテ、恩給金庫ヲ作ツテ財政的壓迫ヲ免レシメテ、體面ヲ維持サセヨウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、トコロガ現在ノ狀態ニ於テハマダ金庫ガ出來テ居ラナイカラ、品性ノ保持出來ナイ者モ現ニ幾ラモアル、私共ガ實際ニ扱ツト云フコトガアル、體面ヲ保タシメルト云フコトニ受給者タルノ體面ヲ保タシメ云々ト云フ第一回

○高木政府委員 法制局長官ノ説明サレマシタ體面ヲ維持スルト云フコトハ、受給者ガ品性ヲ維持スルト云フ意味ダト私共ハ解釋シテ居リマス、現在ノヤウナ狀態デハ受給者ガ體面ヲ維持スルトカ、品性ヲ維持スルコトガ私共ノ念願デアリマス

○小笠原委員 御説御尤モデアリマスガ、アナタ方ハ高イ所カラ御覽ニナッテ、民間ニ下ッタ少將ガ立派ダトカ神様ノヤウダトカ言ヒマスケレドモ、金ニハ神モ佛モアリマセヌ、金ガ無クナツテシマヘバ品位ハ下ッテシマヒマス、サウシテ其金融ヲ受ケテ居ル連中ニ對シテ體面ヲ保タシメルト言ウテ、借金ハ借金、擔保ハ擔保デ引離シテハ債權者ガ黙ツテ居ラヌ、之ニ對シテ破産セシムル、破産者トナツテ體面ガ維持出来マスカ、ソ

コハアナタ方此金庫ノ運用ニ依ッテハ重大ナ
缺陷ガ茲ニ生ズルト思フ、今マデノ再交付
シタモノハ此短イ間ニ於テモ既ニ勅令ト云
フモノニ對シテハ殆ド誰モ踏倒シノ實情ニ
アルト思フ、ソレヲ再交付サレテ、幾ラカ
デモ入金サレタ者ガ一人デモアリマスカ、
債權者ノ方ハ少シモ御調べニナラズニオヤ
リニナルト云フコトハ、ソレハ破産スルナ
ラスルデドウデモ宜イト言ッテ尻ヲ捲ッタ話
デアル、斯ウ云フコトニセシムルノハ如何
ニモ遺憾ガアル、今後是ガドウナルカト云
フコトニ對シマシテハ、アナタ方餘程民間
ノ業者デモ信用組合デモ又軍人後援會デモ
能ク諒解ラ求メレバ求メタデ宜イケレドモ、
今申上ゲマシタ通リニ惡質ダト言ッテ、惡質
八年一割五分デ貸シテ居ルカラ惡質ダト言
フガ、借リル方ハ承諾ヅクデ借リタモノヲ
惡質ト見ルノハドウカ、一割手數料ヲ取
ル、併シ是デモ質屋ヨリハ安イ、サウ云フ
モノヲ惡質ト云フノデ直ニ再交付シテブツ
倒シ主義デヤルト云フノハ重大デアリマ
ス、勿論千五百圓借リテ八百圓モ取ッタヤ
ウナ、サウ云フノハ惡辣デアル、ソレニ制
裁ヲ加ヘルノハ宜イガ、普通アナタ方ガ認
メテ一割五分利子ヲ取ッタ、一割ノ手數料ヲ
取ッタ、ソレガ惡質ダト言ハレルヤウデアリ

マス、惡質ト云フ程度ハアナタ方ヘ其程度
ノコトモ惡質ト御覽ニナルノデアリマス
カ、其邊ノ御見解ニ付テ御伺シタイ
○高木政府委員 ドウ云フ程度ノコトヲ惡
質ト言フカト云フコトハ一寸御答致シ兼ネ
マスガ、私ハ必ズシモ高利ヲ貪ッタナドト
云フノデ直ニ惡質ダトハ言ヘナイト思フ
ノデアリマス、其點ハ寧ロ利息ノ問題ヨリ
モ何ヨリモ非常ニ惡イ手段ヲ講ジマシテ受
給者ヲ苦シメルト云ッタヤウナ性質ノモノ
ノ方ガ寧ロ惡質ヂヤナイカト云フヤウニ考
ヘテ居ルノデアリマス、例ハベ自分ハ債權
ヲ獲得シマシテ、ソレヲ轉々サセテシマッ
テ、證書ガ何處へ行ッタカ分ラスト云フヤ
ウナ狀態ニシテ居ルト云フコトニナリマス
ノデアリマス

○小笠原委員 サウ云フ御心持ノ御持合セ
ノアラレナイコトハ當然デアリマスガ、サ
ウスルト、是マデ再交付サレタノハ餘程惡質
ナモノト見テ再交付ナサレタノデアリマス
カ

シテハ大體先程権員政府委員ガ御説明ニナ
リマシタヤウニ、廣義ノ忘失ト云フヤウニ
考ヘマシテ發行致シテ居ッタヤウデアリマ
ス

○小笠原委員 惡質ト見ナクテモ、忘失ト
付ト云フコトハ或ル程度ニ於テ債權者側ニ
モ反省ヲセシムルダケノ效果ハアッタラウ
ト思ヒマス、今後ニ於テ金庫ガ出來レバ斯
様ナ紛争ト云フモノガ無クナル譯デアリマ

シテ、自然再度證書ノ交付ト云フヤウナ問
題ガ消滅スルデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ
居リマス、唯非常ナ所謂惡質ノモノガアッ
テ、ドウシテモ雙方ノ間ノ妥協ガ纏マラナ
イト云フヤウナ場合ニ於テ、初メテ發動サ
レテ居ルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リ
リマス、隨テ只今ノ所デハドシ／＼再度證
書ヲ發行シテ踏倒シヲ獎勵スル、高利貸ニ
對スル報復手段トシテヤッテ居ルノダト云
フヤウナ考ハ、私共實ハ持合ハシテ居ラヌ
ノデアリマス

タモノヲ一々持ツテ參リマシテ、ドウ云フコ
トガ惡質デアルカ御説明申上ゲタイ、政府
ノ方デハ吾々カラ聽カナイカラ誤解シテ居
ル點モアルデセウ、如何ニモ甲カラ千圓借
リテ居テ、モウ百圓欲シイ、サウスルト乙カラ
千百圓借リテ千圓ヲ甲ニ戻スカラ唯百圓
シカ受取ッテ居ナイ、サウ云フ所ニ誤解ガ澤
山アルト思フ、ソレ等ヲ總テ惡質ト見ラレ
ル、吾々ハ能ク辯解シタノダガ聽カレナイカ
ラ、能ク議員諸君ニ説明シタイト申サレテ
居ッタノデアリマスガ、唯アナタ方ノ權限デサ
ウ認メタ者ハ再交付スルノダト言ヘバ、再
交付ト云フモノハ恐ロシイモノダト云フコ
トニ伺ツテ置クヨリ仕方ガナイ、マア政府ヲ
信用シテ置ケト言ハレルナラ、ドンナニモ
御信用申上ゲマスガ、併ナガラ本當ニ民間
ニ對シテ摩擦ヲ生ズルト云フコトハ重大ナ
ル關係ガアルト思ヒマスカラ、能ク質スペ
キハ質シ、アナタ方モ説明スル所ハ説明シ
テ諒解ヲ盡スベキ必要ガアルト思フ、唯其
點デ権員政府委員ガ言ハレタヤウニ、理窟
ハ餘程巧イ、巧イケレドモ、實際ハソレデ
ハ問題ニナリマセヌ、サウデナクテモアナ
タ方事務官ノ方々ニ對シテハエライ彈壓主
義ダ、ブツ倒シ主義ダト云フノデ非常ナ怨ミ
カ——サウスルトヤハリ踏倒シ主義ニナル
ノデハナイカト考ヘラレマスガ、其點ニ付
ヲ有ツテ居ル、現ニアナタ方ガオヤリニナツ

テ居ルコトニ對シテモ、一方ヲ調ベナイト

云フコトハ私共トシテモ承服出來ナイ所ガ

アル、サウ云フコトデヤラレルト、如何ニ

高利貸ダッテ可哀サウダ、之ヲ殺スニハ又殺

ス途ガアル、サウ云フコトデハナカノ圓

満ニ行ク途ハナイト思ヒマスガ、其點ニ付

キマシテハ尙ホ明日ハ協議會モアル、又政

府ノ方カラモ斯ウ云フ堅イ場合デナク、協

議會ノ場合ニ能クアナタ方ノ意ノアル所ヲ

伺ッテ、其方面デモ宜イカラ纏ツタ何トカ安

心ノ出來ルヤウナ方法ニ一ツ御相談ヲ願ッ

テ、サウシテ是ハ圓滿ニ纏ル方法ヲ取リタ

イ、斯ウ思フノデアリマスカラ、私ハ是デ

打切ヅテ置キマス

○坂東委員 議事進行デアリマスガ、此點

ニ關シテ私ノ質問ハマダ残シテ居リ、答辯モ

マダ満足ヲ得テ居ラヌノデスガ、明日ハ開

會ニナリマスカ

○前田委員長 明日ハ開會致シマス

○坂東委員 サウスレバ其時此點ニ關シテ

私ハ御伺致シマス

○前田委員長 是ニテ通告ニ依リマス委員

諸君ノ質疑ヲ終了致シタノデアリマス、隨

テ明日一部留保ノ分並ニ簡単ナル質疑ヲ許

シテ、サウシテ質疑ヲ打切りタイト思ヒマ

ス、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○前田委員長 御異議ナシト認メマス、本

日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時

半ヨリ開會致シマス

午後五時十分散會